

# 石川県こころの健康センター所報

第 31 号

(平成20年度実績)

石川県こころの健康センター

— 2009 —

## はじめに

石川県こころの健康センター所報第 31 号をお届けします。平成 20 年度のこころの健康センターの業務、活動等を掲載したものです。ご一読いただき感想・意見等お知らせいただければ幸いに存じます。

ここ数年来景気の低迷が取り沙汰され、格差の拡大なども大きな社会問題としてあげられています。このような社会情勢の中で従来からの統合失調症のみならず、多重債務や失職に伴ううつ病をはじめとする気分変調を来す疾患、他者とのつながりが少なくなる中での自殺、孤独、不安の増大からの慢性的な不安を抱えた状況なども大きな社会問題となってきました。また、自立支援法の施行に伴う行政事務の増大など、それぞれに適切な対応が求められ、これらを背景とした精神疾患やこころの健康問題に関する関心の高まりなどとあいまって、こころの健康センターの活動も多岐にわたるようになってきております。

近年減少を見ない自殺者に対して国の方も緊急の予算を編成し自殺防止対策に本格的に取り組む姿勢を見せています。こころの健康センターでは、全国の精神保健福祉センターと共同キャンペーンを企画しこれに協力すると共に、従来の統合失調症、気分障害などの精神保健福祉相談や薬物を含めた依存症の問題、配偶者暴力(DV)への対応、若者の不登校・引きこもり対策、発達障害に対する支援、学校現場などの危機対応への支援などを行っています。それに伴い、センターでの技術援助・相談業務の内容もこれらの問題が絡み合っ

て複雑なものとなる傾向が見られ、他機関との連携の必要性を日々痛感しています。こころの健康センターの職員一同、これまでの皆様方のご助力に感謝し、より一層の努力を重ね、研鑽を積んで業務に励みたいと考えております。今後とも皆様方の暖かいご協力・ご支援をお願い申し上げます。

平成 21 年 12 月

石川県こころの健康センター

所 長 清 田 吉 和

# 目 次

## はじめに

### I こころの健康センター概要

|         |   |
|---------|---|
| 1 沿 革   | 1 |
| 2 施設の概況 | 2 |
| 3 組織・機構 | 3 |
| 4 業 務   | 5 |

### II 平成 20 年度こころの健康センターの活動

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 1 庶務課業務                     | 7  |
| (1) 精神障害者保健福祉手帳の交付について      | 7  |
| (2) 自立支援医療費（精神通院医療）支給認定について | 8  |
| (3) 精神医療審査会                 | 9  |
| 2 相談課業務                     | 10 |
| (1) 技術指導及び技術援助              | 10 |
| (2) 教育研修                    | 12 |
| (3) 普及啓発                    | 16 |
| (4) 調査研究                    | 19 |
| (5) 精神保健福祉相談                | 20 |
| (6) 特定相談指導事業                | 28 |
| (7) 組織育成                    | 29 |
| (8) 在宅精神障害者社会復帰促進事業（田園クラブ）  | 32 |
| (9) 青年期心の健康づくり推進事業          | 34 |
| (10) ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業 | 36 |
| (11) 自殺予防対策推進事業             | 36 |

|                                    |    |
|------------------------------------|----|
| 3 支援課（発達障害支援センター）業務                | 38 |
| （1）発達障害児（者）及び家族等に対する相談支援・発達支援・就労支援 | 38 |
| （2）精神科医による相談事業                     | 41 |
| （3）青年期グループ活動                       | 42 |
| （4）親のつどい                           | 42 |
| （5）関係機関等との調整会議                     | 42 |
| （6）発達障害者関係機関連絡会                    | 43 |
| （7）機関コンサルテーション                     | 44 |
| （8）個別支援のための調整会議                    | 45 |
| （9）普及啓発及び研修                        | 46 |

### Ⅲ 資 料

|                           |    |
|---------------------------|----|
| 1 保健所の精神保健福祉活動（平成20年度）    | 49 |
| 精神保健福祉相談・訪問状況             | 49 |
| 2 その他の資料                  | 50 |
| こころの健康センター貸出しビデオテープ・DVD一覧 | 50 |

# 1 沿 革

|              |  |
|--------------|--|
| 昭和 41 年 10 月 | 石川県社会福社会館内に石川県精神衛生センターが開設される。  |
| 昭和 56 年 11 月 | 金沢市南新保町ル 3-1（現在地）に新築移転する。  |
| 12 月         | デイ・ケア事業、乳幼児発達相談事業（～平成 8 年度）を開始する。  |
| 昭和 57 年 4 月  | 特定相談指導事業（アルコール関連問題、思春期精神保健に関する相談指導等）を開始する。                                     |
| 昭和 58 年 4 月  | 親子通所センターが児童相談所より移管される。<br>同時に庶務課、相談課、訓練課の課制が施行される。                             |
| 昭和 61 年 4 月  | 心の健康づくり推進事業を開始する。  |
| 昭和 63 年 4 月  | 石川県精神保健センターと名称を変更する。<br>痴呆性老人通所事業を開始する。（～平成 2 年度）<br>メンタルヘルス講座を開講する。（～平成 4 年度） |
| 平成 元年 4 月    | 社会復帰連絡会を開始する。（～平成 5 年度）  |
| 平成 3 年 4 月   | こころの相談ダイヤル事業を開始する。   |
| 平成 6 年 4 月   | こころの健康フェスタ開催事業を開始する。（～平成 10 年度）  |
| 平成 7 年 7 月   | 石川県精神保健福祉センターと名称を変更する。   |
| 平成 8 年 10 月  | ピア・カウンセリングセミナーを開始する。（～平成 15 年度）  |
| 平成 13 年 4 月  | 石川県こころの健康センターと名称を変更する。   |
| 平成 14 年 4 月  | 精神医療審査会、通院患者の公費負担及び精神障害者保健福祉手帳に関する業務が石川県健康福祉部障害保健福祉課より移管される。                   |
| 平成 14 年 10 月 | 住所表示が金沢市鞍月東 2 丁目 6 番地に変更される。   |
| 平成 17 年 4 月  | 発達障害支援センターが設置される。  |
| 平成 18 年 4 月  | 親子通所センターが閉所される。  |
| 平成 20 年 9 月  | 石川県精神科救急情報センター<br>「いしかわこころの救急ダイヤル」事業を開始する。                                     |

## 2 施設の概況

### (1) 土地

所在地 石川県金沢市鞍月東2丁目6番地 (〒920-8201) TEL 076(238)5761

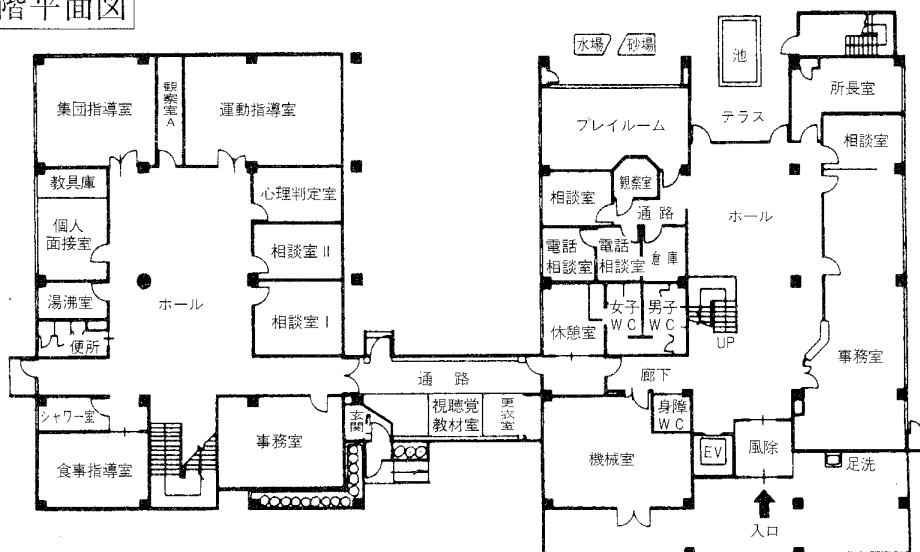
敷地 3,141 m<sup>2</sup>

### (2) 建物

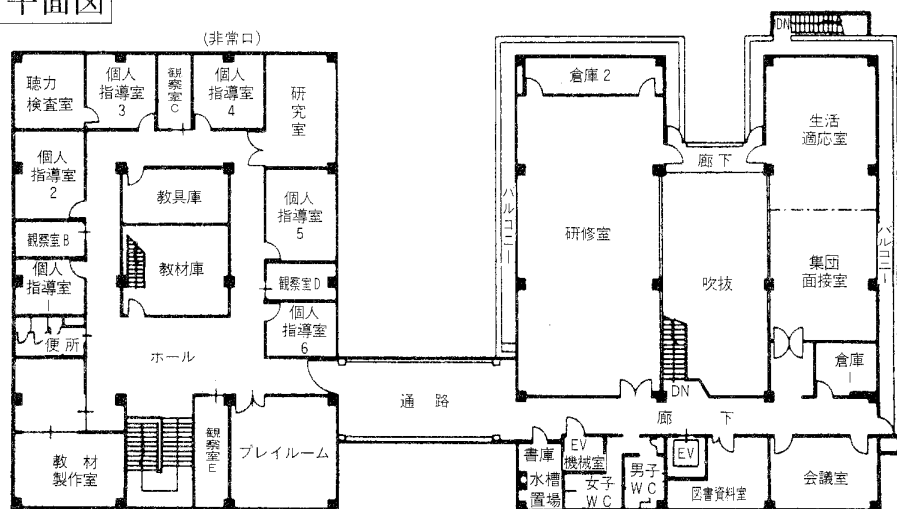
鉄筋コンクリート2階寄棟造 延1,761.26 m<sup>2</sup>

《館内平面図》

1階平面図



2階平面図

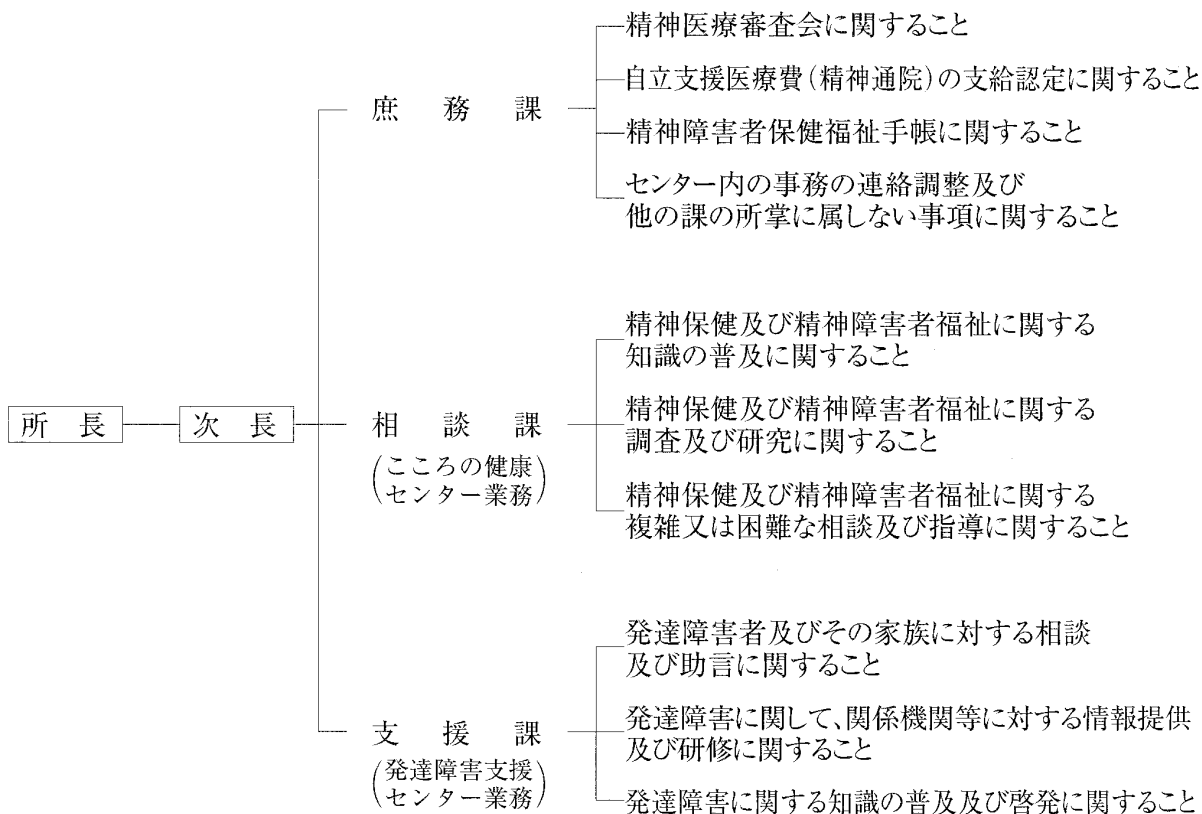


(発達障害支援センター)

(こころの健康センター)

### 3 組織・機構

#### (1) 機構



## (2) 職種別職員数

(平成21年12月1日現在)

| 職 種 | 医   | 保 | 看 | ソ | 福 | 心 | 電 | 保 | 事 | 運 | 庁 | 計 |    |
|-----|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|
|     | 師   | 健 | 護 | ー | 祉 | 理 | 話 | 育 | 務 | 転 | 務 |   |    |
| 職員数 | 常 勤 | — | 2 | 3 | 1 | 2 | 5 | — | 1 | 6 | — | 1 | 21 |
|     | 兼 務 | 2 | — | — | 1 | — | 1 | — | — | — | — | — | 4  |
|     | 非常勤 | 3 | — | — | — | — | 3 | 7 | — | — | 1 | 1 | 15 |
|     | 計   | 5 | 2 | 3 | 2 | 2 | 8 | 7 | 1 | 6 | 1 | 2 | 40 |

## (3) 課別職員数

(平成21年12月1日現在)

| 課 名   | 職 種               | 職 員 数 |     |       | 計  |
|-------|-------------------|-------|-----|-------|----|
|       |                   | 常 勤   | 兼 務 | 非 常 勤 |    |
| 所 長   | 医 師               | —     | 1   | —     | 1  |
| 次 長   | 医 師               | —     | 1   | —     | 1  |
| 次 長   | 事 務 職 員           | 1     | —   | —     | 1  |
| 次 長   | 心 理 判 定 員         | 1     | —   | —     | 1  |
| 庶 務 課 | 看 護 師             | 2     | —   | —     | 9  |
|       | 事 務 職 員           | 4     | —   | —     |    |
|       | 運 転 技 術 員         | —     | —   | 1     |    |
|       | 庁 務 員             | 1     | —   | 1     |    |
| 相 談 課 | 医 師               | —     | —   | 1     | 17 |
|       | 保 健 師             | 1     | —   | —     |    |
|       | ソ ー シ ャ ル ワ ー カ ー | 1     | 1   | —     |    |
|       | 福 祉 指 導 員         | 1     | —   | —     |    |
|       | 心 理 判 定 員         | 2     | 1   | 2     |    |
|       | 電 話 相 談 員         | —     | —   | 7     |    |
| 支 援 課 | 医 師               | —     | —   | 2     | 10 |
|       | 保 健 師             | 1     | —   | —     |    |
|       | 看 護 師             | 1     | —   | —     |    |
|       | 事 務 職 員           | 1     | —   | —     |    |
|       | 福 祉 指 導 員         | 1     | —   | —     |    |
|       | 心 理 判 定 員         | 2     | —   | 1     |    |
|       | 保 育 士             | 1     | —   | —     |    |
| 計     |                   | 21    | 4   | 15    | 40 |

※次長（心理判定員）は相談課長と兼務である。



## 4 業 務

### I 庶務課

平成 14 年度に石川県健康福祉部障害保健福祉課から移管された次の業務を行っている。

- (1) **精神医療審査会に関する事務**
- (2) **自立支援医療費（精神通院）の支給認定及び精神障害者保健福祉手帳に関する事務**

### II 相談課

相談課は精神保健福祉センター業務を担い、「精神保健福祉センター運営要領」（平成 8 年 1 月 19 日健医発第 57 号厚生省保健医療局長通知）により、次の業務を行っている。

#### (1) 企画立案

地域精神保健福祉を推進するため、県本庁及び関係諸機関に対し、専門的立場から、社会復帰の推進方策や、地域における精神保健福祉施策の計画的推進に関する事項等を含め、精神保健福祉に関する提案、意見具申等をする。

#### (2) 技術指導及び技術援助

地域精神保健福祉活動を推進するため保健所、市町及び関係諸機関等に対し、専門的立場から技術指導及び技術援助を実施する。

#### (3) 教育研修

保健所及び精神保健福祉に関係する諸機関の職員の技術的水準の向上を図るために、教育研修を実施する。

#### (4) 普及啓発

県民の心の健康づくり対策として、精神保健福祉の知識と精神障害についての正しい知識等の啓発普及を行うため、パンフレットやパネルを作成したり、ビデオカセット（VHS 方式）の貸し出しをする。また同様の趣旨で職場、学校、福祉関係機関、市町の公民館などで開催される講演会や研修会へ講師を派遣する。

#### (5) 調査研究

地域精神保健福祉活動の推進並びに精神障害者の社会復帰の促進及び自立と社会経済活動への参加の促進等についての調査研究を実施するとともに、精神保健福祉に関する統計及び資料の収集整備をする。

#### (6) 精神保健福祉相談

幼児から老人まで、また自分自身のことから家族・同僚に至るまで、広く心の問題に関する面接及び電話相談に応じる。

#### (7) 特定相談指導事業

アルコール関連問題や薬物関連問題、思春期精神保健に関する相談に応じ、関連問題の発生予防、精神的健康の保持増進への援助をする。

#### (8) 組織育成

地域精神保健関係団体の育成に努め、活動に協力する。

(9) **在宅精神障害者社会復帰促進事業（田園クラブ）**

在宅精神障害者の社会復帰の促進を目的としたクラブ活動を週 2 回実施する。

(10) **青年期心の健康づくり推進事業**

主に 18 歳以上の若者のひきこもり問題に対して、関係機関とネットワークを作り支援していく。併せて、保護者等の家族教室、および本人のためのグループ活動を実施する。

(11) **ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業**

ドメスティック・バイオレンスに悩む男性のための相談窓口を開設し、関係機関連絡会を開催して、問題改善のための連携強化を図る。

(12) **関係機関との連携**

地域精神保健福祉活動の円滑な推進を図るために保健所等との精神保健福祉業務連絡会を開催する。

全国(66ヶ所)及び中部・近畿ブロックの精神保健福祉センター長会(20ヶ所)と中部ブロックの精神保健福祉センター連絡協議会(11ヶ所)に参加している。

### Ⅲ 支援課（発達障害支援センター）

支援課は発達障害支援センター業務を担い「発達障害支援センター運営事業の実施について」（平成 17 年 7 月 8 日障発第 0708004 号厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長通知）により、次の業務を行っている。

(1) **発達障害児（者）及びその家族等に対する相談支援**

(2) **発達障害児（者）及びその家族等に対する発達支援**

(3) **発達障害児（者）及びその家族等に対する就労支援**

(4) **関係施設及び関係機関等に対する普及啓発及び研修**

（関係施設及び関係機関等との連携）

# 1 庶務課業務

## (1) 精神障害者保健福祉手帳の交付について

### ① 対象

精神疾患(知的障害を除く)を有する方のうち、精神障害のため長期にわたり日常生活又は社会生活への制限がある方。

手帳の障害等級は1～3級までであり、障害年金で申請の場合は年金の等級がそのまま手帳の等級になります。等級の判定は、精神疾患(機能障害)の状態と能力障害の状態の両面から総合的に判定します。

### ② 交付手続き

都道府県が交付します。手帳の交付は申請主義によるものとし、精神障害者本人が申請するものとするが家族、医療機関職員等が申請手続きの代行をすることは差し支えありません。申請窓口は、居住地を管轄する市町です。申請方法には次の2つの方法があります。

- ・ 診断書による申請

申請書に医師の診断書(初診日から6ヶ月以上経過した日以降のもの)を添付して提出。

- ・ 年金証書・特別障害給付金受給資格者証による申請

障害年金等を受給している方が、申請書に年金証書等の写し、年金等振込通知書又は年金等支払通知書(直近のもの)、障害年金証書内容照会同意書等を添付して提出。

<精神障害者の写真>

- ・ 写真(縦4cm×横3cm)は脱帽して上半身を写したものであること。
- ・ 手帳の申請時から1年以内に撮影したものであること。

新規、等級変更、再登録の場合には手帳を交付しますが、更新の場合には決定後、市町において有効期限を公印等で訂正して更新日を記入します。

### ③ 手帳の有効期間

手帳に記載する手帳の交付日は、市町が申請書を受理した日で、手帳に記載する手帳の有効期限は交付日から2年が経過する日の属する月の末日となります。

なお、更新申請は有効期限の3ヶ月前からできます。

## (2) 自立支援医療費(精神通院医療)支給認定について

### ① 対象

自立支援医療(精神通院医療)の対象となるのは、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第5条に規定する精神障害者又はてんかんを有する方で、精神通院医療の対象となる障害は、施行規則第6条の15に定めるとおり通院による治療を継続的に必要とする程度の状態の精神障害(てんかんを含む。)とする。

### ② 医療の範囲

精神通院医療の範囲は、精神障害及び当該精神障害に起因して生じた病態に対して病院又は診療所に入院しないで行われる医療です。

ここで、当該精神障害に起因して生じた病態とは、当該精神障害の治療に関連して生じた病態や、当該精神障害の症状に起因して生じた病態とし、指定自立支援医療機関において精神通院医療を担当する医師(てんかんについては、てんかんの医療を担当する医師)によって、通院による精神医療を行うことができる範囲の病態です。

### ③ 申請手続き

申請書は、受給者の居住地を管轄する市町に提出するものとする。提出を受けた市町においては、申請書、添付資料等を確認の上、該当する所得区分等を記入して都道府県に進達する。

#### ア 支給認定の申請のみを行う場合

- ・ 診断書【自立支援医療(精神通院医療)の診断書】及び「重度かつ継続」に関する意見書
- ・ 受診者及び受診者と同一の「世帯」に属する方の名前が記載されている被保険者証・被扶養者証・組合員証など医療保険の加入関係を示すもの。
- ・ 受診者の属する「世帯」の所得の状況等が確認できる資料

#### イ 手帳の新規交付又は再交付の申請と併せて支給認定の申請を行う場合

- ・ 診断書(精神障害者保健福祉手帳用の診断書)及び「重度かつ継続」に関する意見書
- ・ 被保険者証等、受診者の属する「世帯」の所得の状況等が確認できる資料

#### ウ 有効期間が支給認定日の時点で1年以上残っている手帳を所持している方が自立支援医療費の支給認定の新規の申請を行う場合(ただし、精神障害者保健福祉手帳用の診断書に基づく申請により交付された手帳を所持している場合に限る。)

- ・ 被保険者証等、受診者の属する「世帯」の所得の状況等が確認できる資料(高額治療継続者に該当する場合は、「重度かつ継続」に関する意見書が必要。)

※ 平成22年4月支給認定分の申請から診断書の提出を「毎年の提出」から「2年に1度の提出」に変更されました。支給認定開始日が平成22年4月1日以降の申請【平成21年度内に診断書に基づく支給認定(手帳同時申請も含む。)を受けている方に限る。】から適用となります。ただし、病状の変化及び治療方針の変更がある場合は、2年目においても診断書の提出を必要とします。

#### ④ 支給認定の有効期間

新規の申請の場合は、市町が申請を受理した日を始期とし、その始期から1年以内の日で月の末日たる日を終期とする。また、支給認定の有効期間が終了し、継続申請する場合には、前回支給認定の有効期間の満了日の翌日を始期とし、始期より1年以内の日で月の末日たる日を終期とする。

なお、継続申請は有効期間の終了する日の3ヶ月前からできます。

<精神障害者保健福祉手帳所持者数・自立支援医療費(精神通院)支給認定者数>

(平成21年3月31日現在)

| 区分    | 加賀市 | 小松市 | 能美市   | 川北町 | 白山市  | 野々市町 | 金沢市   | かほく市 | 津幡町 | 内灘町   |
|-------|-----|-----|-------|-----|------|------|-------|------|-----|-------|
| 手帳 1級 | 24  | 35  | 32    | 2   | 40   | 24   | 330   | 10   | 7   | 7     |
| 2級    | 141 | 209 | 109   | 6   | 243  | 102  | 1,316 | 73   | 57  | 48    |
| 3級    | 49  | 47  | 16    | 5   | 63   | 21   | 172   | 13   | 7   | 11    |
| 計     | 214 | 291 | 157   | 13  | 346  | 147  | 1,818 | 96   | 71  | 66    |
| 通院    | 581 | 775 | 312   | 22  | 763  | 330  | 4,070 | 264  | 218 | 158   |
| 区分    | 羽咋市 | 志賀町 | 宝達志水町 | 七尾市 | 中能登町 | 輪島市  | 穴水町   | 能登町  | 珠洲市 | 合計    |
| 手帳 1級 | 10  | 11  | 4     | 67  | 13   | 20   | 5     | 12   | 9   | 662   |
| 2級    | 47  | 27  | 29    | 237 | 51   | 73   | 21    | 56   | 35  | 2,880 |
| 3級    | 8   | 6   | 3     | 27  | 11   | 7    |       | 8    | 7   | 481   |
| 計     | 65  | 44  | 36    | 331 | 75   | 100  | 26    | 76   | 51  | 4,023 |
| 通院    | 215 | 206 | 102   | 877 | 232  | 288  | 109   | 213  | 155 | 9,890 |

### (3) 精神医療審査会(年12回開催)

平成20年度件数

| 区 分            | 件 数   |
|----------------|-------|
| 措置入院者の定期病状報告   | 17    |
| 医療保護入院者の定期病状報告 | 1,184 |
| 医療保護入院者の入院届    | 2,214 |
| 退院等の請求         | 24    |
| 計              | 3,439 |

## 2 相談課業務

### (1) 技術指導及び技術援助

地域精神保健福祉活動を推進するために、保健所及び関係諸機関に対し職員等を派遣し、専門的な立場から技術援助を行っている。

平成 20 年度の技術援助回数は 267 回で、そのうち保健所(保健福祉センター、地域センター、金沢市保健所及び福祉健康センターを含む。以下保健所と記す。)へは 61 回 (22.8%)、行政・教育・福祉等の関係機関へは 206 回 (77.2%)であった。

#### ア 保健所

平成 20 年度において保健所からの要請に応じ、事例検討会をはじめ精神保健福祉相談及び訪問指導、精神保健に関する知識の普及・保健活動、協力組織の育成、関係機関との連絡協調、患者クラブ活動等の援助、情報提供、その他の内容で指導・援助を行った回数は 61 回であった(表 1)。

表 1 保健所への技術援助及び技術指導回数

| 区 分                       | 計  | 事 例<br>検 討 会 | 相 談 訪 問<br>指 導 | 知 識 の 普 及<br>・ 保 健 指 導 | 協 力 組 織<br>の 育 成 | 関 係 機 関<br>と の<br>連 絡 協 調 | 患 者 ク ラ<br>ブ 活 動 等<br>の 援 助 | 情 報 提 供<br>・ そ の 他 |
|---------------------------|----|--------------|----------------|------------------------|------------------|---------------------------|-----------------------------|--------------------|
| 加 賀 地 域 セ ン タ ー           | 1  |              |                |                        |                  |                           |                             | 1                  |
| 南 加 賀 保 健 福 祉 セ ン タ ー     | 4  |              |                |                        |                  | 1                         |                             | 3                  |
| 石 川 中 央 保 健 福 祉 セ ン タ ー   | 9  |              |                |                        |                  | 3                         |                             | 6                  |
| 河 北 地 域 セ ン タ ー           | 5  |              | 2              |                        |                  |                           |                             | 3                  |
| 能 登 中 部 保 健 福 祉 セ ン タ ー   | 2  |              |                | 1                      |                  |                           |                             | 1                  |
| 羽 咋 地 域 セ ン タ ー           | 8  | 3            | 4              |                        |                  |                           | 1                           |                    |
| 能 登 北 部 保 健 福 祉 セ ン タ ー   | 3  |              |                | 1                      |                  |                           |                             | 2                  |
| 珠 洲 地 域 セ ン タ ー           | 12 | 3            | 4              | 4                      |                  | 1                         |                             |                    |
| 金 沢 市 保 健 所               | 1  |              |                |                        |                  | 1                         |                             |                    |
| 金 沢 市 駅 西 福 祉 健 康 セ ン タ ー |    |              |                |                        |                  |                           |                             |                    |
| 金 沢 市 泉 野 福 祉 健 康 セ ン タ ー | 14 |              |                |                        |                  | 1                         | 3                           | 10                 |
| 金 沢 市 元 町 福 祉 健 康 セ ン タ ー | 2  |              | 1              |                        |                  |                           |                             | 1                  |
| 合 計                       | 61 | 6            | 11             | 6                      | -                | 7                         | 4                           | 27                 |

## イ 関係機関（保健所を除く）

県内の関係機関の要請に応じて、講義や助言等の指導援助を行っているが、平成 20 年度の保健所以外の行政や教育、医療機関への技術援助は 206 回であった。

区分別では国・県への技術援助が 61 回と一番多く、次いで教育 45 回、市町 26 回、医療機関 17 回の順になっている（表 2）。

表 2 関係機関（保健所を除く）への技術援助及び技術指導回数

| 区 分      | 計   | 事 例<br>検 討 会 | 相 談 訪 問<br>指 導 | 知 識 の<br>普 及 ・<br>保 健 指 導 | 協 力 組 織<br>の 育 成 | 関 係 機 関<br>と の<br>連 絡 協 調 | 患 者 ク ラ<br>ブ 活 動 等<br>の 援 助 | 情 報 提 供<br>・ そ の 他 |
|----------|-----|--------------|----------------|---------------------------|------------------|---------------------------|-----------------------------|--------------------|
| 国 ・ 県    | 61  | 18           | 1              | 7                         |                  | 18                        | 1                           | 16                 |
| 市 町      | 26  | 6            | 1              | 3                         | 1                |                           |                             | 15                 |
| 医 療      | 17  | 5            |                | 1                         |                  |                           |                             | 11                 |
| 福 祉      | 14  |              |                | 8                         | 1                | 2                         |                             | 3                  |
| 教 育      | 45  | 9            | 3              | 10                        |                  | 11                        |                             | 12                 |
| 労 働      | 8   | 1            | 1              | 1                         |                  | 3                         |                             | 2                  |
| 各種精神保健団体 | 10  |              |                | 6                         | 2                |                           | 1                           | 1                  |
| 学生教育・実習  | 3   |              |                | 2                         |                  |                           |                             | 1                  |
| 社会復帰施設等  | 7   | 1            |                |                           | 1                | 4                         |                             | 1                  |
| 司 法      | 3   |              |                |                           |                  | 2                         |                             | 1                  |
| そ の 他    | 12  | 1            |                | 4                         | 2                | 3                         |                             | 2                  |
| 合 計      | 206 | 41           | 6              | 42                        | 7                | 43                        | 2                           | 65                 |

## (2) 教育研修

平成 20 年度は、保健所および精神保健福祉に関する諸機関の職員を対象にした研修会を 12 回開催した。

### ア 精神保健福祉担当者「基礎研修会」

地域における精神保健福祉業務が円滑に推進されるように、関係機関の職員を対象に、相談に係る基礎知識の習得や技術の向上を図ることを目的に基礎研修会を実施した。

|                 | 7月2日(水)   | 7月30日(水)   |
|-----------------|---|--|
| 10:00～<br>11:00 | オリエンテーション<br>講義1 「精神疾患の基礎知識」<br>講師 ころの健康センター<br>所長 清田 吉和                                      | 講義1 「障害者自立支援法の概要と福祉サービス」<br>講師 石川県障害保健福祉課<br>主任主事 今部 京佳                                      |
|                 |   | 講義2 「権利擁護について」<br>講師 ころの健康センター相談課<br>担当課長 北村 義文  |
| 13:00～<br>14:00 | 講義2 「精神保健福祉の動向」<br>講師 南加賀保健福祉センター<br>健康推進課主幹 荒田 稔   | 講義3 「相談の実際2」<br>～不登校、ひきこもり関連の基礎知識～<br>講師 ころの健康センター相談課<br>主任主事 荒木 暢通                          |
| 14:00～<br>15:00 | 講義3 「精神保健福祉法」<br>～入院形態・自立支援医療・精神保健福祉手帳～<br>講師 ころの健康センター<br>相談課担当課長 琴坂 真由美<br>庶務課企画管理専門員 南出 直人 | 講義4 「相談の実際3」<br>～アディクション、自殺予防関連の基礎知識～<br>～精神障害者の社会資源を知ろう～<br>講師 ころの健康センター相談課<br>相談専門員 中宮 久美子 |
| 15:00～<br>16:00 | 講義4 「相談の実際1」<br>～インテークの基礎・相談の留意点～<br>講師 ころの健康センター相談課<br>次長 辻 容子                               | グループワーク<br>「日頃の相談活動から思うこと」   |
| 参加者             | 市町職員、保健所職員、医療機関、障害者福祉サービス事業所職員 86名  | 市町職員、保健所職員、医療機関、障害者福祉サービス事業所職員 74人   |

### イ 精神保健福祉担当者研修会

県内の関係職員を対象に精神保健福祉における援助関係のあり方について検討することを目的に、精神保健福祉担当者研修会を実施している。平成 20 年度は社会的入院者の地域での支援づくりを考えることを目的に、地域生活支援事業研修として行った。



## 地域生活支援事業研修会

|     |   |
|-----|---|
| 日 時 | 平成 20 年 7 月 22 日（火）10 時～12 時  |
| 場 所 | 石川県こころの健康センター研修室  |
| 内 容 | 実践報告「4 圏域での地域生活支援事業の取り組み」<br>講義「精神障害者の地域生活支援事業をいかにすすめるか」<br>～ケアマネジメント実践を中心として～<br>講師 駒澤大学 文学部社会学科（社会福祉学専攻）<br>准教授 佐藤 光正 |
| 参加者 | 保健所担当者、自立支援員、その他関係機関職員 32 人   |

## ウ アルコール関連問題研修会

アルコール関連問題に関する研修は、従来精神保健研修会の中に位置づけられ、昭和 57 年度より 3 年間及び昭和 61 年度、平成 2 年度に開催してきたが、平成 4 年度よりアルコール関連問題研修会として毎年行っている。

|     |  |
|-----|--|
| 日 時 | 平成 20 年 10 月 24 日（金）13 時～16 時 30 分   |
| 場 所 | 石川県立中央病院健康教育館 2 階大研修室  |
| 内 容 | アディクションセミナー<br>講義「依存症回復のヒント」<br>講師 さいたま市こころの健康センター 所長補佐 岡崎 直人<br>当事者の体験発表、セルフヘルプ活動紹介コーナー |
| 参加者 | 保健、福祉、司法、医療関係従事者、その他 76 人  |

## エ 薬物関連問題相談担当者研修会

平成 12 年度より薬物関連問題相談指導事業が開始され、平成 18 年度より相談担当者研修会を行っている。

|     |   |
|-----|---|
| 日 時 | 平成 20 年 10 月 24 日（金）10 時～12 時                               |
| 場 所 | 石川県立中央病院健康教育館 2 階大研修室                                       |
| 内 容 | 講義「アルコール関連問題に対するインターベンション」<br>講師 さいたま市こころの健康センター 所長補佐 岡崎 直人 |
| 参加者 | 保健、福祉、司法、医療、教育関係の相談従事者 42 人                                 |

## オ 思春期精神保健関係機関研修会

思春期・青年期の不登校・ひきこもりをはじめとする心の問題に対処するために、教育・医療・保健・相談機関の職員等を対象として、子どもたちの現状や問題点、取り巻く環境などについて理解を深め、より良い援助について考えることを目的に研修を行った。

|     |   |
|-----|---|
| 日 時 | 平成 20 年 10 月 10 日 (金) 10 時～12 時   |
| 場 所 | こころの健康センター研修室   |
| 内 容 | 事例検討会「自傷行動を巡って」<br>講師 自殺予防総合対策センター自殺実態分析室長 精神科医 松本 俊彦<br>(国立精神・神経センター精神保健研究所) |
| 参加者 | 保健所、相談機関等関係機関職員及び中学、高校等の教諭等子どもの自傷行動等の相談に携わっている人 53 人                          |
| 共 催 | 石川県精神保健福祉協会   |
| 後 援 | 石川県教育委員会  |

### カ ひきこもり訪問支援者養成講座

| 開 催 日                           | 内 容                                  | 講 師   | 参加者 |
|---------------------------------|--------------------------------------|---|-----|
| 平成 20 年 7 月 7 日<br>13:30～15:30  | 講義<br>「ひきこもりとは～若者支援のあり方について～」        | 山梨県立精神保健福祉センター<br>(山梨県中央児童相談所副所長)<br>所長 近藤 直司   | 34  |
| 平成 20 年 7 月 18 日<br>10:00～12:00 | 講義<br>「社会資源について～不登校・ニート・ひきこもりへの取り組み」 | 石川県教育委員会学校指導課<br>石川県商工労働部労働企画課<br>石川県こころの健康センター | 21  |
| 平成 20 年 7 月 18 日<br>13:30～15:30 | 講義と実習<br>「対人援助技術の実際～ロールプレイを通して」      | 金沢工業大学<br>教授 塩谷 亨                               | 22  |

### キ こころの緊急支援事業隊員養成研修会

こころの緊急支援活動を広く周知し、こころの緊急支援に携わる隊員を募るとともに、こころのケア従事者ならびに関係機関の理解を深めることを目的とする。

また、隊員および仮登録者に対して、実践的な訓練を実施し、こころの緊急支援活動に必要な技能の向上を図るため研修を実施した。

(基礎研修)

| 日 時 (場 所)   | 内 容   | 参 加 者                 |
|---|---|-----------------------|
| 12月10日(水)<br>13:30～15:30<br>(石川県立中央病院<br>健康教育館2階大研修室) | 講演「学校への緊急支援<br>—子どものトラウマとこころのケア」<br>講師 武蔵野大学 教授 藤森 和美 | 精神保健福祉関係者、教職員<br>205人 |

(隊員実践研修)

| 日 時 (場 所)                                      | 内 容   | 参 加 者                |
|--|---|----------------------|
| 12月20日(土)<br>13:00~17:00                       | 講義「学校の危機対応とこころのケア」<br>体験CRT   | 精神保健福祉関係者、教職員<br>49人 |
| 12月21日(日)<br>9:00~14:30<br><br>(石川県こころの健康センター) | 講義「CRTとは」「情報管理と情報発信」<br>演習 保護者向け文書作成<br>トレーナー<br>和歌山県精神保健福祉センター<br>所長 北端 裕司 |                      |
| 1月17日(土)<br>15:00~18:00                        | 「体験補助業務」  | 精神保健福祉関係者、教職員<br>46人 |
| 1月18日(日)<br>9:00~14:00<br><br>(石川県こころの健康センター)  | 「共同記者会見」<br>トレーナー<br>山口県精神保健福祉センター<br>所長 河野 通英                              |                      |

ク 学生実習

① 実 習

| 学 校 名           | 実施日数 | 受講者数 |
|-----------------|------|------|
| 石川県立保育専門学校(専攻科) | 1日   | 8人   |
| 石川県立看護大学        | 2日   | 4人   |

② 講 義

| 学 校 名           | 実施日数 | 受講者数 |
|-----------------|------|------|
| 金沢大学医学部保健学科     | 1日   | 90人  |
| 石川県立保育専門学校(専攻科) | 2日   | 8人   |
| 金沢医科大学          | 2日   | 120人 |

### (3) 普及啓発

一般県民や関係者に対して、精神保健福祉や心の健康に関する理解を深め、地域社会における精神保健福祉活動の推進を図ることを目的として、講演活動や各種団体などが開催する研修会への講師派遣、「センターだより」等の発行やホームページの作成、マスコミを通じての広報活動等、普及啓発事業を実施した。

#### ア 主催または共催した講演会

| 期 日      | 講 演 会 名          | 内 容   | 参加者   |
|----------|------------------|---|-------|
| 20.7.22  | 地域生活支援事業<br>講演会  | 「精神障害者の地域生活支援をめざして」<br>講師 駒澤大学文学部社会学科<br>准教授 佐藤 光正  | 96 人  |
| 20.10.10 | 思春期精神保健<br>公開講演会 | 「青少年の自傷と自殺<br>『故意に自分の健康を害する』症候群の理<br>解と援助」<br>講師 自殺予防総合対策センター<br>自殺実態分析室長精神科医 松本 俊彦<br>(国立精神・神経センター精神保健研究所) | 138 人 |
| 20.10.24 | アディクション<br>セミナー  | 「依存症回復のヒント」<br>講師 さいたまま市こころの健康センター<br>所長補佐 岡崎 直人  | 76 人  |
| 21.2.14  | 地域生活支援事業<br>講演会  | 「退院促進支援<br>～グループホームでの実践から～」<br>講師 社会福祉法人巣立ち会<br>理事 田尾 有樹子<br>当事者の体験発表                                       | 120 人 |

#### イ 講師を派遣した講演会

|                  | 依 頼 先            | 内 容                               | 回数 | 参加人数  |
|------------------|------------------|-----------------------------------|----|-------|
| 市<br>町           | 加賀市              | こころの健康ボランティア講座<br>「心の病気について学ぼう」   | 1  | 30 人  |
|                  | 津幡町              | 権利擁護研修会「認知症など判断能<br>力の低下した人の理解」   | 1  | 80 人  |
|                  | 市町人事課            | 課長補佐研修「職場のメンタルヘルス」                | 1  | 100 人 |
| 関<br>係<br>機<br>関 | NPO 法人金沢ボランティア大学 | 精神疾患の理解                           | 1  | 20 人  |
|                  | パルの会             | 発達障害を考える                          | 1  | 18 人  |
|                  | メンタルヘルス協会        | メンタルヘルスカウンセラー養成講<br>座「PTSDを理解する」  | 1  | 100 人 |
|                  | リハビリテーション研究会     | リハビリテーション研究大会分科<br>会「人間関係のストレス支援」 | 1  | 80 人  |

|                  |                    |                                    |            |      |
|------------------|--------------------|------------------------------------|------------|------|
| 関<br>係<br>機<br>関 | 家庭教育相談員連絡協議会       | 精神障害者の地域参加                         | 1          | 20人  |
|                  | 金沢こころの電話           | 電話カウンセラー養成セミナー<br>「社会資源について」       | 1          | 13人  |
|                  | 〃                  | カウンセラー教育養成講座<br>「思春期の心の病と発達」       | 1          | 18人  |
|                  | 金沢菊川福祉ボランティアの<br>会 | ともに地域で暮らすために                       | 1          | 33人  |
|                  | 子ども夢フォーラム          | 子どものまなざし                           | 1          | 13人  |
|                  | 石川県家族連絡協議会         | 相談員研修会<br>「精神疾患・精神相談の対応」           | 1          | 10人  |
|                  | 白山石川広域事務組合         | 職場におけるメンタルヘルスケア                    | 1          | 85人  |
|                  | 福祉人材センター           | 精神障害、発達障害の理解                       | 2          | 120人 |
|                  | 赤十字病院              | うつ病とこころの健康                         | 1          | 50人  |
|                  | 石川県社会福祉協議会         | ホームヘルパー研修「精神障害者に<br>対する基礎知識—理解と対応」 | 1          | 68人  |
|                  | 石川県長寿生きがいセンター      | いしかわ長寿大学<br>「こころの健康を保つには」          | 1          | 45人  |
|                  | 石川労働局              | 職場のメンタルヘルス                         | 1          | 15人  |
|                  | 県                  | 石川県教育センター                          | 思春期のこころの病気 | 1    |
| 県高等学校保健会         |                    | 精神科からみた子どもの病気                      | 1          | 23人  |
|                  |                    | 児童虐待について                           | 1          | 9人   |
| 七尾高校             |                    | 研修「思春期の心の健康とその対応」                  | 1          | 15人  |
|                  |                    | 講演「思春期の心の病気と発達障害」                  | 1          | 30人  |
| 消防学校             |                    | 職場のメンタルヘルス                         | 1          | 30人  |
|                  |                    | 惨事ストレス                             | 1          | 30人  |
| 珠洲地域センター         |                    | メンタルヘルスボランティア研修会<br>「こころの健康」       | 1          | 8人   |
|                  |                    | 「支援者のための知識—うつの理<br>解と関わり方」         | 1          | 10人  |
|                  |                    | 家族研修会<br>「本人との上手な接し方」              | 1          | 10人  |
| 能登中部保健福祉センター     |                    | 「ひきこもりとは」                          | 1          | 8人   |
| 能登北部保健福祉センター     |                    | キャラバンメイト養成講座<br>「認知症の理解と対応」        | 1          | 50人  |
| 県人事課             |                    | 初任者・新任係長・新任課長研修                    | 5          | 296人 |

## ウ マスコミ活用

| 期 日     | 内 容   | 報 道 機 関 |
|---------|---|---------|
| 20.10.3 | 第 56 回精神保健福祉普及運動について<br>第 13 回精神障害者支援事業所作品展、精神保健福祉パネル展示、自死遺族交流会など | 新聞社 2 社 |

## エ 普及啓発資料の作成

県下の精神保健の動向やこころの健康センターの事業の紹介を目的として発行した。

|                | 内 容   | 発行部数  |
|----------------|---|---|
| センター<br>だより    | 第 70 号 特集「生きやすい社会をめざして、いしかわの自殺予防」<br>第 71 号 特集「雇用不安状況下での働くひとのメンタルヘルス」                       | 各 500 部   |
| 講 演 録          | アルコール関連問題講演録「依存症回復のヒント」   | 500 部   |
| パ ン フ<br>レ ッ ト | 大切な人を自死で亡くされたあなたへ（自死遺族用）<br>かけがえのない命をまもるために<br>薬物依存に関する相談のご案内<br>統合失調症を理解するために<br>ひきこもりについて | 10,000 部<br>5,000 部<br>10,000 部<br>10,000 部<br>10,000 部 |
| マ ッ プ          | 精神保健福祉「いしかわマップ」   | 400 部   |
| パ ネ ル          | 統合失調症を理解するために～ともに地域で暮らすために～   | 6 枚   |
| そ の 他          | 社会資源情報リーフレット  | 700 部   |

## オ 普及啓発資料の貸し出し

病院や地域関係機関にビデオ、パネル等の貸し出しを行っている。平成 20 年度は 27 件あり、医療機関の利用が最も多かった。

## カ ホームページの更新

アドレス <http://www.pref.ishikawa.jp/fukusi/kokoro-home/kokoro/top.html>

## キ 障害者ふれあいフェスティバル

障害者の自立と社会参加の意欲を高め、並びに県民の障害者に対する理解と認識をより一層高めることを目的に開催される事業で、平成 20 年度が第 13 回となる。

当初、知的障害と身体障害の 2 障害合同形式で開催されていたものだが、平成 11 度より精神障害関係団体が正式に加わり、3 障害合同で開催されている。

日 時 平成 20 年 9 月 21 日（日）10:00 ～16:00

場 所 石川県産業展示館 4 号館

参加者 約 12,000 人

内 容 (精神障害者関係分)

ステージコーナー（詩の朗読）、展示コーナー、販売・屋台模擬店コーナー、体験コーナー、フリーマーケットコーナー

## ク 第 56 回精神保健福祉普及運動パネル展、ミニコンサート

| 期 日                      | 内 容   | 場 所               |
|--------------------------|---|-------------------|
| 9 月 10 日<br>～16 日        | 自殺予防パネル展<br>・ 自殺予防パネル、ポスター<br>うつ病のパネル展示、パンフレット等の配布                    | 県庁 19 階<br>交流コーナー |
| 10 月 21 日<br>～27 日       | 第 56 回精神保健福祉普及運動パネル展示<br>・ うつ病、依存症についてのパネル展示<br>・ うつ病、依存症のチェックリスト等の配布 |                   |
| 10 月 22 日<br>12:30～13:00 | 精神保健福祉普及運動ミニコンサート<br>ギター演奏等   |                   |

### (4) 調査研究

| 研 究 名                                  | 研 究 者  | 報 告 書  |
|--|--|--|
| 思春期ひきこもりにおける<br>精神医学的障害の実態把握<br>に関する研究 | 近藤 直司<br>(山梨県立精神保健福祉センター)<br>宮沢 久江<br>(山梨県中央児童相談所)<br>境泉 洋<br>(徳島大学総合科学部人間社会学科)<br>清田 吉和<br>(石川県こころの健康センター)<br>北端 裕司<br>(和歌山県精神保健福祉センター)<br>黒田 安計<br>(さいたま市こころの健康センター)<br>黒澤 美枝<br>(岩手県精神保健福祉センター)<br>宮田 量治<br>(山梨県立北病院) | 厚生労働科学研究費補助金<br>こころの健康科学研究事業<br>思春期のひきこもりをもたらす<br>精神科疾患の実態把握と精神<br>医学的治療・援助システムの<br>構築に関する研究<br>平成 20 年度総括・分担研究<br>報告書 |

## (5) 精神保健福祉相談

平成20年度の相談（電話相談と来所相談を合わせたもの）の概要は表1、表2の通りである。相談延件数は、電話相談4,353件、来所相談1,177件であり、前年度の電話相談4,013件、来所相談957件に比べともに増加している。来所相談の実件数は281件で前年度の237件と比べ増加している。実件数のうち新来件数は197件であり、前年度からの繰り越しまたは再来相談件数は84件であった（表1）。

相談区分では、その他を除くと、電話相談では、こころの健康づくりが2,106件で最も多く次いで思春期が333件となっている。来所相談では、思春期が317件と最も多く次いで社会復帰が286件の順になっている。再掲でひきこもりは325件で前年度の158件と比べ増加している。（表2）。

表1 電話相談・来所相談件数

件数は延件数

|         | 男     | 女     | 合計    |
|---------|-------|-------|-------|
| 電 話 相 談 | 1,915 | 2,438 | 4,353 |
| 来 所 相 談 | 810   | 367   | 1,177 |
| 計       | 2,725 | 2,805 | 5,530 |

表1－(1) 来所相談の再掲

|        | 男       | 女   | 合計  |     |
|--------|---------|-----|-----|-----|
| 新<br>来 | 新 来 相 談 | 110 | 87  | 197 |
|        | 繰り越し・再来 | 60  | 24  | 84  |
| 継 続    |         | 640 | 256 | 896 |

表2 相談区分別相談件数

件数は延件数（ ）は実件数

|         | 平成20年度 |            | 平成19年度   |
|---------|--------|------------|----------|
|         | 電話相談   | 来所相談（新来）   | 来所相談（新来） |
| 老人精神保健  | 40     | 1（1）       | 4（4）     |
| 社会復帰    | 219    | 286（34）    | 290（43）  |
| アルコール   | 40     | 13（10）     | 4（4）     |
| 薬 物     | 6      | 2（1）       | 0（0）     |
| 思 春 期※  | 333    | 317（69）    | 186（49）  |
| 心の健康づくり | 2,106  | 223（51）    | 187（67）  |
| そ の 他   | 1,609  | 335（105）   | 286（70）  |
| 再<br>掲  | ひきこもり  | 325（52）    | 158（28）  |
|         | 自 殺    | 52         | 8（5）     |
| 計       | 4,353  | 1,177（231） | 957（237） |

※原則として13歳～24歳の精神発達の途上にある者およびその家族からの心の悩み等の思春期精神保健に関する相談を指す。



## ア 電話相談

電話相談は、通常の業務時間内に、事務所の電話で受ける相談のほか、専用電話相談の「こころの相談ダイヤル」で受ける相談を合わせたものである。

平成 20 年度の相談件数(延件数)は 4,353 件であり、性別で見ると、男性 1,915 件、女性 2,438 件と、女性の方が 523 件多い(表 1)。

年齢区分別(不明を除く)では、〈40～49 歳〉が 1,206 件 (27.7%) と最も多く、次いで〈30～39 歳〉が 961 件 (22.1%) を占めている(表 3、図 1)。

相談内容別では「精神障害者の生活上の問題」が 1,462 件 (33.6%) と最も多く、次いで「日常生活に関する心配・不安」588 件 (13.5%) 「家庭内の問題」493 件 (11.3%)、の順となっている(表 4、図 2)。

処遇としては、電話相談では「傾聴・助言」が 4,020 件(92.4%)と最も多く、次いで「こころの健康センター(来所相談)へ」が 149 件 (3.4%)、「他機関紹介」129 件 (3.0%) となっている(表 7)。

## イ 来所相談

来所相談は原則として予約制をとっているが、本人または家族・関係者が直接窓口に来所した場合も対応している。

新来相談の来所経路を見てみると、男女とも電話帳や口コミにより「直接」来所してくる場合が 106 件と一番多い。次いで「医療機関(精神科)」18 件、「施設・学校」9 件の順になっている(表 5)。

相談は、通常の業務の中で相談課職員が対応している。必要に応じ所長または嘱託医(精神科医)の診察を実施している。

平成 20 年度の相談件数(延件数)は 1,177 件と平成 19 年の 957 件より 220 件多い。

年齢区分別では〈30～39 歳〉が 317 件 (26.9%) と最も多く、次いで〈25～29 歳〉285 件 (24.2%)、〈19～24 歳〉207 件 (17.6%) となっており、20 代までの相談が 675 件 (57.7%) を占めている(表 3、図 1)。

相談内容別では、「ひきこもり」が 267 件 (22.7%) と最も多く、次いで「精神障害者の生活上の問題」182 件 (15.5%)、「社会復帰・デイケアの問題」170 件 (14.4%) と続いている(表 4、図 2)。

診断分類別件数では、医師の診察を必要としなかったり、診断保留の状態で継続的な関わりを続けている相談が 561 件 (47.7%) と最も多い。診断別では統合失調症が 278 件 (23.6%)、気分障害(そううつ病)が 116 件 (9.9%)、神経症 82 件 (2.7%) となっている(表 6)。

処遇としては、「継続面接」が 741 件と最も多く、次いで「助言」の 221 件となっている。相談後、他機関に紹介した件数は 30 件で主な紹介先として「医療機関(主に精神科)」が 21 件と最も多い(表 8)。

表3 電話相談・来所相談の年齢別状況

| 年齢区分   | 相談区分  |       |       |       | 合計    |       |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|        | 電話相談  |       | 来所相談  |       | 件数    | %     |
|        | 件数    | %     | 件数    | %     |       |       |
| 0～5歳   | 5件    | 0.1%  | 件     | %     | 5件    | 0.1%  |
| 6～12歳  | 36    | 0.8   | 3     | 0.3   | 39    | 0.7   |
| 13～15歳 | 40    | 0.9   | 62    | 5.3   | 102   | 1.8   |
| 16～18歳 | 95    | 2.2   | 121   | 10.3  | 216   | 3.9   |
| 19～24歳 | 221   | 5.1   | 207   | 17.6  | 428   | 7.7   |
| 25～29歳 | 198   | 4.5   | 285   | 24.2  | 483   | 8.7   |
| 30～39歳 | 961   | 22.1  | 317   | 26.9  | 1,278 | 23.1  |
| 40～49歳 | 1,206 | 27.7  | 109   | 9.3   | 1,315 | 23.8  |
| 50～64歳 | 356   | 8.2   | 60    | 5.1   | 416   | 7.5   |
| 65歳以上  | 44    | 1.0   | 4     | 0.3   | 48    | 0.9   |
| 不明     | 1,191 | 27.4  | 9     | 0.8   | 1,200 | 21.7  |
| 合計     | 4,353 | 100.0 | 1,177 | 100.0 | 5,530 | 100.0 |

件数は延件数

図1 電話相談・来所相談の年齢別状況

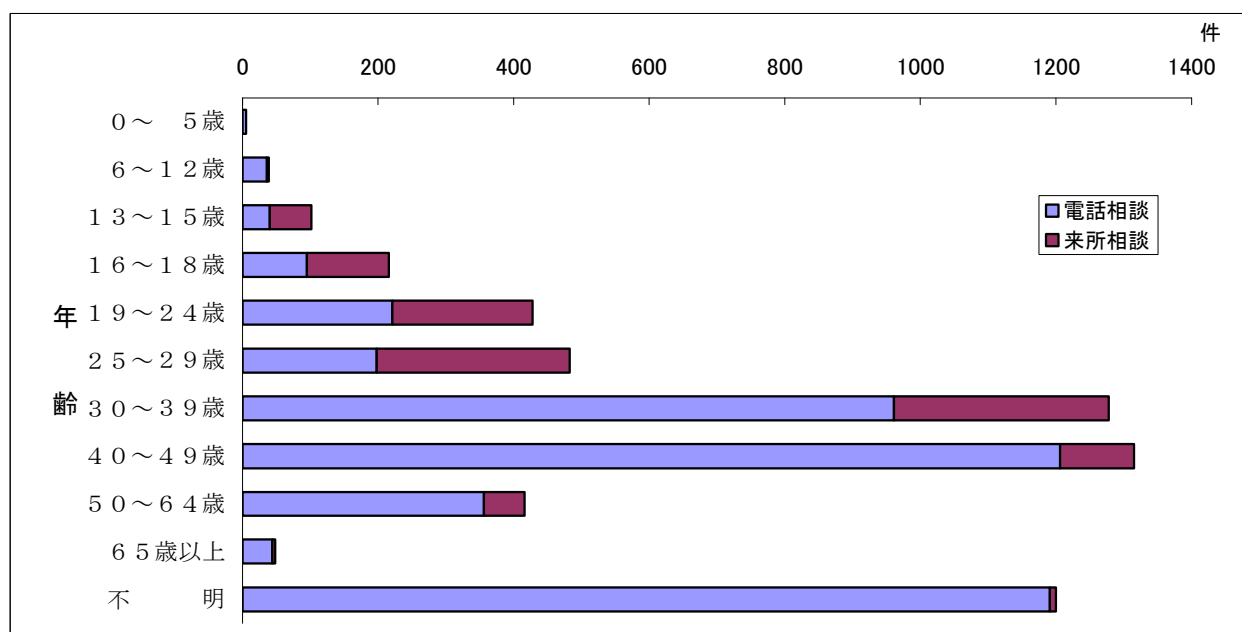


表4 電話相談・来所相談の相談内容別状況

| 相談内容          | 相談区分  |       |             |       | 合計    |       |
|---------------|-------|-------|-------------|-------|-------|-------|
|               | 電話相談  |       | 来所相談        |       |       |       |
|               | 件数    | %     | 件数 (実)      | %     | 件数    | %     |
| 発達上の問題        | 4件    | 0.1%  | 11件 (3)件    | 0.9%  | 15件   | 0.3%  |
| 不登校・学校不適応     | 75    | 1.7   | 96 (23)     | 8.2   | 171   | 3.1   |
| ひきこもり         | 107   | 2.5   | 267 (46)    | 22.7  | 374   | 6.8   |
| 非行・反社会的問題     | 2     | 0.0   | 16 (1)      | 1.4   | 18    | 0.3   |
| 暴力            | 43    | 1.0   | 20 (11)     | 1.7   | 63    | 1.1   |
| 家庭内の問題        | 493   | 11.3  | 57 (27)     | 4.8   | 550   | 9.9   |
| 出産・育児上の悩み     | 29    | 0.7   | 0 (0)       | 0.0   | 29    | 0.5   |
| 更年期の悩み        | 4     | 0.1   | 0 (0)       | 0.0   | 4     | 0.1   |
| 高齢者の問題        | 24    | 0.6   | 2 (2)       | 0.2   | 26    | 0.5   |
| 仕事・職場の悩み      | 217   | 5.0   | 31 (17)     | 2.6   | 248   | 4.5   |
| 身体上の悩み        | 59    | 1.4   | 7 (7)       | 0.6   | 66    | 1.2   |
| 摂食障害          | 10    | 0.2   | 6 (5)       | 0.5   | 16    | 0.3   |
| 性格・行動上の悩み     | 144   | 3.3   | 135 (27)    | 11.5  | 279   | 5.0   |
| 対人関係上の悩み      | 393   | 9.0   | 22 (9)      | 1.9   | 415   | 7.5   |
| アルコール問題       | 38    | 0.9   | 13 (10)     | 1.1   | 51    | 0.9   |
| 薬物問題          | 6     | 0.1   | 2 (1)       | 0.2   | 8     | 0.1   |
| アルコール・薬物以外の依存 | 16    | 0.4   | 7 (6)       | 0.6   | 23    | 0.4   |
| 性についての悩み      | 63    | 1.4   | 46 (3)      | 3.9   | 109   | 2.0   |
| 日常生活に関する心配・不安 | 588   | 13.5  | 0 (0)       | 0.0   | 588   | 10.6  |
| 神経症           | 8     | 0.2   | 3 (1)       | 0.3   | 11    | 0.2   |
| 精神障害への不安      | 55    | 1.3   | 8 (5)       | 0.7   | 63    | 1.1   |
| 病気の治療上の問題     | 280   | 6.4   | 24 (15)     | 2.0   | 304   | 5.5   |
| 社会復帰・D.Cの問題   | 102   | 2.3   | 170 (30)    | 14.4  | 272   | 4.9   |
| 精神障害者への対応     | 37    | 0.8   | 29 (5)      | 2.5   | 66    | 1.2   |
| 精神障害者の生活上の問題  | 1,462 | 33.6  | 182 (19)    | 15.5  | 1,644 | 29.7  |
| 情報提供          | 63    | 1.4   | 5 (4)       | 0.4   | 68    | 1.2   |
| その他           | 31    | 0.7   | 18 (4)      | 1.5   | 49    | 0.9   |
| 合計            | 4,353 | 100.0 | 1,177 (281) | 100.0 | 5,530 | 100.0 |

件数は延件数(実件数)

図2 電話相談・来所相談の内容別相談状況

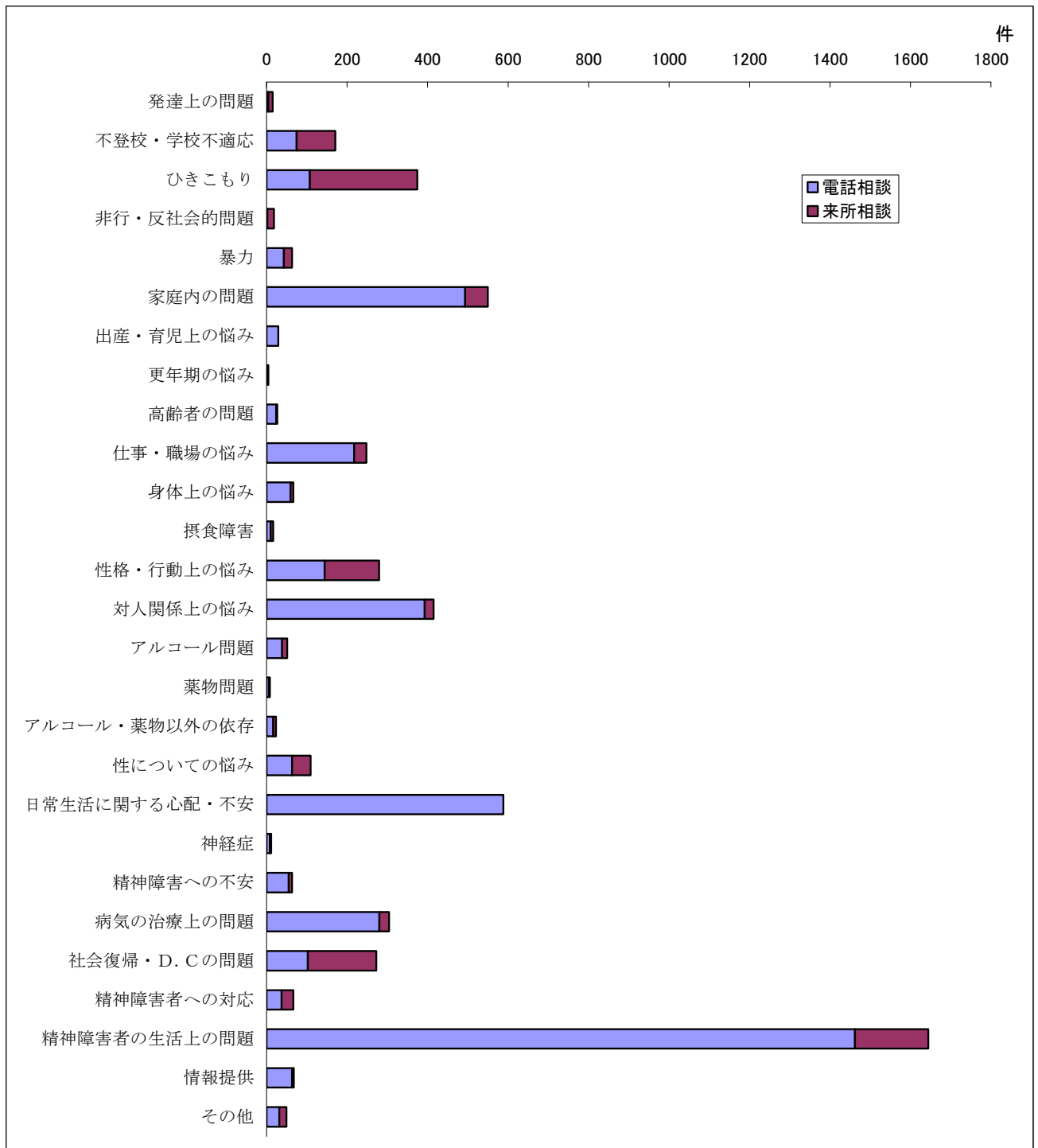


表5 来所経路別相談件数 (新来相談について)

| 経路                               | 性別   |      | 合計    |
|----------------------------------|------|------|-------|
|                                  | 男    | 女    |       |
| 直接                               | 60 件 | 46 件 | 106 件 |
| 医療機関 (精神科)                       | 7    | 11   | 18    |
| 医療機関 (一般科)                       | 2    | 2    | 4     |
| 県保健福祉センター・金沢市福祉健康センター<br>(保健所)   | 3    | 2    | 5     |
| 児童相談所                            | 2    | 2    | 4     |
| 県保健福祉センター・金沢市福祉健康センター<br>(福祉事務所) | 1    | 1    | 2     |
| 児童・民生委員                          | 0    | 0    | 0     |
| 施設・学校                            | 5    | 4    | 9     |
| ハローワーク<br>(職業安定所・ジョブカフェ石川)       | 5    | 1    | 6     |
| 警察                               | 2    | 0    | 2     |
| 県庁・市町役場                          | 4    | 4    | 8     |
| その他の相談機関                         | 4    | 3    | 7     |
| こころの相談ダイヤル                       | 2    | 2    | 4     |
| その他の電話相談                         | 0    | 4    | 4     |
| センター事務所電話相談                      | 0    | 2    | 2     |
| その他                              | 13   | 3    | 16    |
| 合計                               | 110  | 87   | 197   |

件数は延件数

表6 診断別相談件数

| 診断名           |             | 来所者区分      |               | 継続  | 合計    |       |
|---------------|-------------|------------|---------------|-----|-------|-------|
|               |             | 新来相談<br>件数 | 繰り越し・再来<br>件数 |     | 件数    | %     |
| 器質性<br>精神障害   | 神経梅毒        | 0件         | 0件            | 0件  | 0件    | 0.0%  |
|               | 脳血管性障害      | 0          | 0             | 0   | 0     | 0.0   |
|               | 初老期及び老年期認知症 | 1          | 0             | 0   | 1     | 0.1   |
|               | その他         | 0          | 0             | 0   | 0     | 0.0   |
| 症状性神経病        |             | 0          | 0             | 0   | 0     | 0.0   |
| 精神中毒性<br>精神障害 | アルコール症      | 2          | 0             | 1   | 3     | 0.3   |
|               | その他         | 0          | 0             | 1   | 1     | 0.1   |
| 統合失調症         |             | 15         | 29            | 234 | 278   | 23.6  |
| 双極性感情障害       |             | 18         | 8             | 90  | 116   | 9.9   |
| 非定型精神病        |             | 0          | 0             | 0   | 0     | 0.0   |
| 妄想状態          |             | 0          | 0             | 0   | 0     | 0.0   |
| 反応性精神病        |             | 0          | 0             | 0   | 0     | 0.0   |
| その他分類困難な精神病   |             | 0          | 0             | 0   | 0     | 0.0   |
| 神経症           |             | 8          | 7             | 79  | 94    | 8.0   |
| 心身症           |             | 2          | 1             | 8   | 11    | 0.9   |
| 性的機能障害及び性欲異常  |             | 1          | 0             | 0   | 1     | 0.1   |
| 児童期神経性習癖と行動異常 |             | 1          | 2             | 29  | 32    | 2.7   |
| 不登校・家庭内暴力     |             | 0          | 0             | 0   | 0     | 0.0   |
| 小児自閉症         |             | 0          | 0             | 0   | 0     | 0.0   |
| 性格異常          |             | 0          | 0             | 0   | 0     | 0.0   |
| てんかん          |             | 0          | 0             | 0   | 0     | 0.0   |
| 精神遅滞          |             | 1          | 0             | 3   | 4     | 0.3   |
| その他           |             | 1          | 4             | 67  | 72    | 6.1   |
| 未診断・診断保留      |             | 144        | 33            | 384 | 561   | 47.7  |
| 異常なし          |             | 3          | 0             | 0   | 3     | 0.3   |
| 合計            |             | 197        | 84            | 896 | 1,177 | 100.0 |

件数は延件数

表7 処遇別相談件数（電話相談）

| 区 分 | 助 言    | センター<br>(来所相談)<br>へ紹介 | 他機関紹介 | その他  | 再連絡  | 合 計    |
|-----|--------|-----------------------|-------|------|------|--------|
| 件 数 | 4,020件 | 149件                  | 129件  | 10件  | 45件  | 4,353件 |
| %   | 92.4%  | 3.4%                  | 3.0%  | 0.2% | 1.0% | 100%   |

件数は延件数

表8 処遇別相談件数（来所相談）

| 処遇状況       |            | 来所者区分   |         |      | 合 計   |
|------------|------------|---------|---------|------|-------|
|            |            | 新 来 相 談 | 繰り越し・再来 | 継 続  |       |
| 助 言        |            | 142 件   | 31 件    | 48 件 | 221 件 |
| 診 察        |            | 15      | 3       | 12   | 30    |
| 特殊<br>援助   | 継続面接（又は治療） | 37      | 34      | 670  | 741   |
|            | デ イ ・ ケ ア  | 3       | 16      | 166  | 185   |
|            | そ の 他      | 0       | 0       | 0    | 0     |
| 合 計        |            | 197     | 84      | 896  | 1,177 |
| （再掲）診断書発行  |            | 0       | 0       | 1    | 1     |
| （再掲）<br>紹介 | 医 療 機 関    | 14      | 3       | 4    | 21    |
|            | 保 健 所      | 1       | 0       | 0    | 1     |
|            | 福 祉 関 係    | 1       | 0       | 1    | 2     |
|            | 教 育 機 関    | 1       | 0       | 1    | 2     |
|            | そ の 他      | 2       | 1       | 1    | 4     |

件数は延件数

## (6) 特定相談指導事業

### ア アルコール関連問題相談・薬物関連問題相談事業

(ア) 相談状況

表1 相談状況

|                | 来 所 相 談   |           |          | 電 話 相 談 |    |    |
|----------------|-----------|-----------|----------|---------|----|----|
|                | 総 数       | 男         | 女        | 総 数     | 男  | 女  |
| アルコール問題        | 4<br>(4)  | 1<br>(1)  | 3<br>(3) | 40      | 14 | 26 |
| 薬 物 問 題        | 0<br>(0)  | 0<br>(0)  | 0<br>(0) | 6       | 2  | 4  |
| アルコール<br>・薬物以外 | 25<br>(3) | 24<br>(2) | 1<br>(1) | 16      | 3  | 13 |
| 計              | 29<br>(7) | 25<br>(3) | 4<br>(4) | 62      | 19 | 43 |

件数は延人数（実人数）

(イ) アルコール関連問題研修会・薬物関連問題相談担当者研修会

\* 研修内容については P13 参照

### イ 思春期相談指導事業

(ア) 相談状況

表2 思春期相談件数（相談対象者が13歳～24歳の相談を指す）

|         | 男     | 女     | 合 計   |
|---------|-------|-------|-------|
| 電 話 相 談 | 157 件 | 199 件 | 356 件 |
| 来 所 相 談 | 212   | 178   | 390   |
| 合 計     | 369   | 377   | 746   |

件数は延件数

(イ) 思春期精神保健関係機関研修会

\* 研修内容については P13 参照



## (7) 組織育成

平成 20 年度に、当センターが直接にかかわりをもった組織は、アルコール自助グループ(石川県断酒連合会、A・A)、精神障害者家族会(石川県精神障害者家族会連合会)、石川県精神保健福祉協会、石川県精神障害者支援事業所連絡協議会、石川県メンタルヘルスボランティア連絡協議会の各団体である。

それぞれに対するかかわりの回数、参加人数は下記の表 1 のとおりである。

表 1 協力組織へのかかわり

| 対 象                         | 回 数 | 参加人数  |
|-----------------------------|-----|-------|
| 石 川 県 断 酒 連 合 会             | 4   | 222   |
| A ・ A グ ル ー プ 等             | 10  | 180   |
| 小 計                         | 14  | 402   |
| 石 川 県 精 神 障 害 者 家 族 会 連 合 会 | 30  | 789   |
| 石 川 県 精 神 保 健 福 祉 協 会       | 31  | 2,235 |
| 石川県精神障害者支援事業所連絡協議会          | 9   | 224   |
| 石川県メンタルヘルスボランティア連絡協議会       | 4   | 105   |
| 全国精神障害者地域生活支援協議会(あみ)        | 12  | 120   |
| 合 計                         | 100 | 3,875 |

### ア アルコール自助グループ

#### (ア) 石川県断酒連合会

石川県断酒連合会は、昭和 44 年「北陸断酒新生会」として結成された。その後、昭和 58 年「石川県断酒連合会」に名称が変更された。昭和 56 年以降当センターは例会の会場を月 1 回提供し、職員が参加してきた。ここ数年例会は独自で開催されるようになり、日頃の情報交換、一泊研修会、北陸ブロック研修会等を通して活動支援を行なった。

#### (イ) AA 等

石川県では昭和 63 年に AA 金沢グループが誕生し、現在は 9 グループが活動している。職員が日頃の情報交換や、オープンスピーカーズミーティングやオープンステップミーティングに参加することで、活動支援を行なっている。

## イ 精神障害者家族会

### (ア) 石川県精神障害者家族会連合会（石家連）

石川県精神障害者家族会連合会は昭和 48 年 6 月頃より石川県内の保健所を単位した地域家族会で結成され、10 家族会（会員数約 400 人）をもって昭和 49 年 2 月に連合会として発足した。その後、地域家族会の統合があつたりして平成 20 年度現在では 13 地域家族会と 2 病院家族会、1 施設家族会で連合会を組織し、会員は 273 名である。

表 2 石家連へのかかわり

| 内 容                               | 回 数 | 参加人数 |
|-----------------------------------|-----|------|
| 総会と講演会                            | 2   | 128  |
| 精神障害者家族会と病院長との懇談会<br>精神保健福祉協会との共催 | 1   | 110  |
| 行政との懇談会                           | 1   | 48   |
| 常務理事会、理事会等                        | 18  | 144  |
| 研修会等                              | 8   | 359  |

### (イ) 地域家族会

地域家族会の育成援助は保健所が中心になってかかわりをもっている。

## ウ 石川県精神障害者支援事業所連絡会

平成 5 年度から県内の精神障害者小規模作業所指導員の研修の場として、家族会県連のなかに作業所部会を設けて、作業所運営の検討、アンケート調査の実施、パンフレットの作成等の活動を行なってきた。

平成 7 年度作業所数が大幅に増加し、従事する指導員数も多くなってきたことから、平成 8 年 5 月に県内の小規模作業所で組織する石川県精神障害者小規模作業所連絡協議会が発足し、家族会から分離して月 1 回の例会や、役員会、勉強会等の活動を行っている。現在、県内の精神障害者支援事業所（17 ケ所）が参加している。平成 20 年度は、金沢市において全国精神障害者地域生活支援協議会（あみ）の全国大会が開催され、当連絡会として大会運営に協力した。また、作品展を県庁展望ロビーにおいて開催、石川県障害者ふれあいフェスティバルでは、各事業所の製品販売を行った。当事者への支援力向上をめざして、富山県「ふされん」と合同研修会を実施した。これらの諸活動に対して支援を行った。

## エ 石川県精神保健福祉協会

昭和 35 年 10 月に石川県精神衛生協会が結成され、平成 3 年 6 月、名称を石川県精神保健協会、平成 10 年 6 月に石川県精神保健福祉協会と改めている。平成 20 年度会員は、個人会員 373 名、団体会員 35 団体、特別会員 13 カ所となっている。

表 3 精神保健福祉協会へのかかわり

| 期 日                          | 内 容                | 対 象             | 人 数             |
|------------------------------|--------------------|-----------------|-----------------|
| 20 . 5 . 16                  | 表彰審査委員会            | 委員              | 5 人             |
| 20 . 4 . 19 ~<br>21 . 3 . 11 | 心の健康づくり講師派遣事業      | 地域、学校、職域等の団体    | 18 回<br>1,309 人 |
| 20 . 5 . 23                  | 理 事 会              | 理事、監事等          | 10 人            |
| 20 . 3 . 13                  | 〃                  | 〃               | 16 人            |
| 20 . 6 . 14                  | 総 会                | 会員、関係者等         | 58 人            |
| 〃                            | 精神保健講演会            | 会員、一般           | 99 人            |
| 20 . 11 . 13                 | 精神障害者家族会と病院長等との懇談会 | 病院長等、家族会、行政、保健所 | 112 人           |
| 20 . 6 . 29                  | 精神科看護職員等研修会        | 病院関係者           | 142 人           |
| 20 . 10 . 24                 | 地域精神保健専門委員会        | 関係機関職員、一般       | 76 人            |
| 20 . 10 . 10<br>20 . 12 . 10 | 精神保健福祉研修会          | 関係機関職員、一般       | 2 回<br>343 人    |
| 21 . 2 . 28                  | 精神保健福祉研究会          | 会員、一般           | 51 人            |
| 21 . 3 . 5                   | 会報編集委員会            | 委員              | 4 人             |
| 20 . 11 . 15                 | 教育と精神保健専門委員会       | 教育関係者           | 10 人            |

計 31 回 2,235 人

## オ 石川県メンタルヘルスボランティア連絡協議会

昭和 63 年に当センターでメンタルヘルスボランティア講座が開催された。引き続き保健所が中心となって地域住民に対し、継続的に教育が行われており、ボランティアを志す人達がグループを作って積極的な活動がなされるようになった。平成 11 年に連絡会が開催され、平成 13 年度に「石川県メンタルヘルスボランティア連絡協議会」が発足。平成 20 年度には県内のグループ数は 11 となっている。

## (8) 在宅精神障害者社会復帰促進事業（田園クラブ）

目的：在宅精神障害者の社会参加を促進するため、話し合い、スポーツ、レクリエーション、手工芸などの活動を通じて、対人関係の改善、社会性や生活技能の向上を図ることを目的にグループ活動を行う。

### ア 実施状況

表1 田園クラブ実施状況

| 実施回数 | 実施頻度 | 実人数              | 延人数    | 一回あたりの参加人数 |
|------|------|------------------|--------|------------|
| 96回  | 週2回  | 24人（男16人<br>女8人） | 1,019人 | 10.6人      |

表2 年齢別参加者状況

| 20～24歳 | 25～29歳 | 30～39歳 | 40～45歳 | 計   |
|--------|--------|--------|--------|-----|
| 2人     | 7人     | 13人    | 2人     | 24人 |

表3 来所経路別参加者数

| 直接 | 公的病院からの紹介 | 私立病院からの紹介 | 学校からの紹介 |
|----|-----------|-----------|---------|
| 5人 | 5人        | 13人       | 1人      |

表4 保健所管内別参加者数

| 石川中央 | 河北センター | 金沢駅西 | 金沢泉野 | 金沢元町 |
|------|--------|------|------|------|
| 3人   | 5人     | 8人   | 7人   | 1人   |

表5 参加者の他機関利用状況

| 就労<br>アルバイト | 地域活動支援センター<br>就労移行支援B型 | 病院デイケア | 社会適応訓練 | その他 | 利用なし |
|-------------|------------------------|--------|--------|-----|------|
| 4人          | 6人                     | 1人     | 0人     | 3人  | 10人  |

表6 プログラム別実績

| 内<br>容 | 作 業 療 法 |          |       |      |     |     | レクリエーション療法 |             |                |         |     | 集 団 活 動 |      |             |            |      |            |      |     |     |     | 個<br>別<br>相<br>談 | 合<br>計 |
|--------|---------|----------|-------|------|-----|-----|------------|-------------|----------------|---------|-----|---------|------|-------------|------------|------|------------|------|-----|-----|-----|------------------|--------|
|        | クラフト    | 料理・お菓子作り | カラージュ | パソコン | その他 | 小計  | スポーツ       | DVD<br>カラオケ | マイフェバリットミュージック | ゲーム・その他 | 小計  | 話し合い    | 所外活動 | コミュニケーション講座 | 知りたいことセミナー | 施設見学 | コーヒーボランティア | 所内行事 | SST | その他 | 小計  |                  |        |
| 単位     | 24      | 13       | 2     | 3    | 3   | 45  | 3          | 6           | 5              | 7       | 49  | 12      | 32   | 12          | 5          | 4    | 3          | 3    | 1   | 2   | 74  | 12               | 180    |
| 参加者    | 188     | 107      | 22    | 30   | 373 | 266 | 55         | 52          | 15             | 52      | 440 | 130     | 303  | 104         | 51         | 36   | 26         | 29   | 7   | 8   | 694 | 141              | 1648   |

### イ 家族へのかかわり

平成20年度は全体の家族教室を3回実施。教室後に担当スタッフと家族による個別懇談会を行った。

| 月 日                              | 内容及び担当者  | 参加者数 |
|----------------------------------|--|------|
| 平成20年<br>8月18日(月)<br>13:30~16:00 | ・講話と話し合い<br>講話「あせらずにゆとりをもって無理しない<br>～病気の理解と対応～」<br>講師 金沢大学附属病院 精神科医 橋場 悟 | 7人   |
| 平成20年<br>12月1日(月)<br>13:30~16:00 | ・講話と話し合い<br>講話「病気を理解し上手に対応しよう<br>～病気の症状と対処の工夫～」<br>講師 こころの健康センター所長 清田 吉和 | 13人  |
| 平成21年<br>3月19日(木)<br>13:30~16:00 | ・講話と話し合い<br>講話「家族の体験談」<br>講師 石川県精神障害者家族会連合会<br>会 長 梶 義伸<br>常務理事 紺谷 徳子    | 11人  |

## (9) 青年期心の健康づくり推進事業

青年期の、いじめや家庭内暴力、不登校、ひきこもりなどが社会問題化してきている中で、平成13年4月から、県全体の取り組みとして当該事業が始められた。

当該事業は、青年期の問題のうち主にひきこもりや不登校を対象とし、総合的な対応を行うために、地域の保健所や関係機関と連携を取りながら、以下の事業を行った。

### ア 個別相談

特定相談日を設けることなく、通常の相談業務の中で、随時相談に応じる形を取っている。

表1 ひきこもり・不登校相談件数

| 相談種別 | 件数(延) |
|------|-------|
| 電話相談 | 127件  |
| 来所相談 | 421件  |
| 合計   | 548件  |

※ 相談の背景にひきこもり状態があるものを含む

### イ ひきこもり家族教室

対象を「概ね18歳から35歳までの『ひきこもり』問題で悩む県内の家族」とした。参加者は5回通して参加できることを原則に、事前面接により得た情報を検討し参加者を決定した。

目的：家族がひきこもりに関する正しい理解を得ることで、解決の糸口とする。

家族同士による体験の語り合い、意見交換を通じて、家族の不安・焦り・孤立感を軽減する。

家族が安心できる場の提供。

内容：1回2時間とし、タイムスケジュールに従って、最初に「参加のルール」を読み合わせ、「気分調べ」、各テーマで「話題提供（ミニ講義）」を行った後、意見交換を目的とした「家族交流会」を開催した。

表2 家族教室の内容と開催状況

|               |               |                  |
|---------------|---------------|------------------|
| 第1回           | 話題提供<br>家族交流会 | 「ひきこもりとは？」       |
| 第2回           | 話題提供<br>家族交流会 | 「ひきこもりの心理」       |
| 第3回           | 話題提供<br>家族交流会 | 「家族にできること」       |
| 第4回           | 話題提供<br>家族交流会 | 「本人との関わりについて考える」 |
| 第5回           | 家族交流会         |                  |
| 参加者数<br>(家族数) | 6人<br>(5家族)   | 延21人             |

### ウ ひきこもり家族交流会

当センターの家族教室への参加家族を対象に、引き続き家族同士が集まれる場を持つことを目的とする。定員は特に定めていない。

開催回数は年4回で、当センターを会場とし、1回の時間は2時間とした。

センターより、2～3人の職員が参加し、家族の自主的な話し合いができるような援助、必要に応じて情報提供を行った。

表3 家族交流会の内容と開催状況

| 回数  | 開催月日             | 参加家族数  | 内容   |
|-----|------------------|--------|--|
| 第1回 | 平成20年 6月 6日(金)   | 5家族 5人 | ① 気分しらべ<br>② 参加ルールの確認<br>③ 家族同士の話し合い<br>④ まとめ<br>⑤ チェックアウトとしての感想 |
| 第2回 | 平成20年 8月 25日(月)  | 3家族 3人 |  |
| 第3回 | 平成20年 11月 21日(金) | 4家族 4人 |  |
| 第4回 | 平成21年 3月 2日(月)   | 3家族 3人 |  |

### エ 思春期・青年期グループ（ひきこもり当事者グループ）

目的 ひきこもりなど対人関係で悩む人に安心して過ごせる場を提供し、対人交流を通して自信の回復と対人技術の向上を図る。

対象 原則として精神疾患や発達障害が背景にない、概ね18歳から35歳までの者

日時 月3回 13:30～15:30の2時間 年35回開催

参加者 登録者 13人（男性13人女性0人）延べ250人

定員 10名程度

内容 お菓子作り、スポーツ、ビデオ鑑賞など参加者が話し合いによって決める

職員 心理職等

## オ ひきこもり訪問指導者養成講座

目的 ひきこもりに悩む人やその家族に対して、相談や訪問などを通して支援を行う「訪問支援者」を養成する。

対象者 ひきこもり支援に携わる関係機関職員。ひきこもりを経験し克服した若者や家族、及びボランティア等の内、ひきこもり支援活動に携わる意欲のある者

\* 研修内容についてはP14を参照

## (10) ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業

平成13年10月の「DV防止法」の施行に先立ち、平成13年4月から、暴力を止めたい男性が相談出来る場所として、個別相談窓口を開設している。

## ア 個別相談

表1 DV個別相談件数

|              |          | 合計  | 面接相談    | 電話相談 |
|--------------|----------|-----|---------|------|
| DVに関する相談件数   |          | 60件 | 16件     | 44件  |
| 暴力抑止に関する相談件数 |          | 42件 | 16件(10) | 26件  |
| 相談者内訳        | 加害男性     | 19件 | 13件(7)  | 6件   |
|              | 加害女性     | 1件  | 0件      | 1件   |
|              | 被害女性     | 16件 | 2件(2)   | 14件  |
|              | 被害男性     | 1件  | 0件      | 1件   |
|              | 加害男性の家族等 | 3件  | 1件(1)   | 2件   |
|              | 被害女性の家族等 | 0件  | 0件      | 0件   |
|              | その他      | 2件  | 0件      | 2件   |

## (11) 自殺予防対策推進事業

平成10年より、自殺者数が急増しており、自殺の予防対策として自死遺族交流会とこころの緊急支援事業を実施した。

### ア 自死遺族交流会

家族を自殺で亡くした方達が、苦しい気持ちを語りあったり、傾聴し、互いに支え合ったりしていく場として、平成18年11月より「自死遺族交流会」を開催している。

日時 奇数月の第1日曜日 14:00～16:00

場所 金沢市内

実施回数 6回

参加人数 11人 延べ30人



## イ こころの緊急支援事業

平成 19 年に発生した「能登半島地震」における「こころのケアチーム」の支援活動を端緒として、精神保健分野における緊急時の学校コミュニティー支援のあり方について、検討を重ねてきた。

当事業では、県内の学校で生徒の自殺等、重大な事件事故が起こった際、C R T（クライシスレスポンスチーム）を派遣し、子どもたちに「こころのケア」を行う学校を側面から支援することを目的とし、平成 21 年度内の本格実施を目標に、教職員及び専門職の研修等、準備を進めてきた。

8 月 22 日（金）～23 日（土） 第 3 回全国 C R T 連絡協議会（長崎県）

10 月 31 日（金） 準備検討会議 参加者 26 名

12 月 10 日（水） 基礎研修会

12 月 20 日（土）～21 日（日） 実践研修 I

1 月 17 日（土）～18 日（日） 実践研修 II

\* 研修内容については P 1 4～1 5 を参照

### 3 支援課（発達障害支援センター）業務

#### (1) 発達障害児（者）及び家族等に対する相談支援・発達支援・就労支援

発達障害児（者）に関する相談全般で、1回～数回の相談で終了する相談支援、心理機能の適正な発達を支援し、円滑な社会生活を促進するために発達障害の特性に対応して、継続的に支援する発達支援、就労に関して継続的に支援する就労支援を行っている。

表1 年齢別

|      |     | 0～6歳 | 7～12歳 | 13～18歳 | 19歳以上 | 不明 | 合計         |
|------|-----|------|-------|--------|-------|----|------------|
| 相談支援 | 実人員 | 56   | 55    | 69     | 92    | 27 | 299(13)人   |
|      | 延件数 | 337  | 289   | 449    | 621   | 29 | 1,725(27)件 |
| 発達支援 | 実人員 | 14   | 20    | 20     | 25    | 0  | 79人        |
|      | 延件数 | 186  | 474   | 581    | 723   | 0  | 1,964件     |

( )内の数字は、県外居住者及び居住先不明者の合計数

|      |     | 18歳未満 | 18歳以上 | 合計   |
|------|-----|-------|-------|------|
| 就労支援 | 実人員 | 0     | 15    | 15人  |
|      | 延件数 | 0     | 409   | 409件 |

表2 相談支援の主な相談内容

| 情報提供 | 家庭生活 | 健康・医療 | 教育  | 保育 | 療育 | 進路相談 | 自立支援 | 就労  | その他 | 合計     |
|------|------|-------|-----|----|----|------|------|-----|-----|--------|
| 151  | 689  | 303   | 118 | 1  | 1  | 16   | 3    | 102 | 341 | 1,725件 |

表3 支援方法

|      | 来所    | 訪問 | 電話    | その他 | 合計     |
|------|-------|----|-------|-----|--------|
| 相談支援 | 876   | 11 | 745   | 93  | 1,725件 |
| 発達支援 | 1,327 | 6  | 509   | 122 | 1,964件 |
| 就労支援 | 231   | 9  | 154   | 15  | 409件   |
| 合計   | 2,434 | 26 | 1,408 | 230 | 4,098件 |

その他：メール、FAX、文書等を含む

表4 相談支援の障害種別

| 障害種別      | 相談支援 | 発達支援 | 就労支援 | 合計   |
|-----------|------|------|------|------|
| 自閉症       | 64   | 48   | 5    | 117  |
| アスペルガー症候群 | 29   | 16   | 7    | 52   |
| A D / H D | 4    | 2    | 1    | 7    |
| L D       | 1    | 1    | 0    | 2    |
| その他       | 42   | 2    | 1    | 45   |
| 不明（未診断含む） | 159  | 10   | 1    | 170  |
| 合計        | 299人 | 79人  | 15人  | 393人 |

自閉症：自閉症及び広汎性発達障害（知的障害を伴う、知的障害の有無不明）を含む  
 アスペルガー症候群：高機能自閉症、高機能広汎性発達障害を含む

表5 相談者

| 相談者            | 相談支援   | 発達支援   | 就労支援 | 合計     |
|----------------|--------|--------|------|--------|
| 本人             | 485    | 853    | 223  | 1,561  |
| 保護者・親族         | 936    | 828    | 108  | 1,872  |
| 保育所・幼稚園        | 13     | 11     | 0    | 24     |
| 小学校            | 15     | 57     | 0    | 72     |
| 中学校            | 11     | 0      | 0    | 11     |
| 高等学校           | 15     | 11     | 0    | 26     |
| 養護学校           | 7      | 18     | 0    | 25     |
| 専門学校・短大・大学     | 0      | 6      | 0    | 6      |
| 援護施設等          | 14     | 1      | 0    | 15     |
| 保健所            | 10     | 0      | 0    | 10     |
| 市町保健センター       | 7      | 4      | 0    | 11     |
| 行政             | 7      | 31     | 0    | 38     |
| 医療機関           | 86     | 88     | 11   | 185    |
| 公共職業安定所        | 5      | 6      | 25   | 36     |
| 障害者職業センター      | 37     | 22     | 39   | 98     |
| 障害者就業・生活支援センター | 7      | 0      | 1    | 8      |
| 児童相談所          | 16     | 3      | 0    | 19     |
| その他            | 54     | 25     | 2    | 81     |
| 合計             | 1,725件 | 1,964件 | 409件 | 4,098件 |

行政：保健所、市町保健センター以外を含む

援護施設等：更生・授産施設、通勤寮、福祉ホーム等

表6 発達支援・就労支援回数

|           | 1～10回 | 11回以上 | 合計  |
|-----------|-------|-------|-----|
| 発達支援（実人員） | 26    | 53    | 79人 |
| 就労支援（実人員） | 6     | 9     | 15人 |

表7 発達支援・就労支援の支援期間

|           | 3ヶ月未満 | 3ヶ月～<br>6ヶ月未満 | 6ヶ月～<br>1年未満 | 1年以上 | 合計  |
|-----------|-------|---------------|--------------|------|-----|
| 発達支援（実人員） | 0     | 3             | 16           | 60   | 79人 |
| 就労支援（実人員） | 0     | 1             | 3            | 11   | 15人 |

## (2) 精神科医による相談事業

嘱託の精神科医による相談事業を月4回実施している。相談後の支援は、センターによる継続支援や必要に応じて、医療機関等の他機関への紹介を実施している。

表1 相談事業結果

|      |                 |     |
|------|-----------------|-----|
|      | 実 施 回 数         | 15回 |
|      | 来 所 実 人 員       | 24人 |
|      | 来 所 延 人 員       | 26人 |
| 年齢別  | 乳 幼 児           | 4   |
|      | 小 学 校           | 7   |
|      | 中 学 生           | 3   |
|      | 1 5 ~ 1 8 歳     | 3   |
|      | 1 9 歳 ~         | 7   |
|      | 合 計             | 24  |
| 診察結果 | 障 害 な し         | 0   |
|      | 経過観察（判定保留）      | 2   |
|      | 自 閉 症           | 21  |
|      | アスペルガー症候群       | 1   |
|      | A D / H D       | 0   |
|      | L D             | 0   |
|      | 知 的 障 害         | 2   |
|      | そ の 他           | 0   |
| 合 計  | 26              |     |
| 支援内容 | センターで継続支援       | 23  |
|      | 医 療 機 関 紹 介     | 1   |
|      | 療 育 施 設 紹 介     | 0   |
|      | そ の 他 の 機 関 紹 介 | 2   |
|      | 他 機 関 で 管 理 中   | 3   |
|      | そ の 他           | 0   |

自閉症：自閉症及び広汎性発達障害（知的障害を伴う、知的障害の有無不明）を含む  
 アスペルガー症候群：高機能自閉症、高機能広汎性発達障害を含む

### (3) 青年期グループ活動

平成17年10月より、毎週木曜午後2時から4時まで、青年期を対象としてグループ活動を実施している。

表1 活動状況

| 実施回数 | 実人員 | 延人員  | 内 容                           |
|------|-----|------|-------------------------------|
| 51回  | 9人  | 208人 | SST（対人マナー、社会見学、ストレス解消法、調理実習等） |

### (4) 親のつどい

平成19年10月より、第2火曜午後1時半から3時半まで、青年期の保護者を対象として実施している。

表1 実施状況

| 実施回数 | 実人員<br>(家族) | 延人員 | 内 容              |
|------|-------------|-----|------------------|
| 11回  | 7組          | 39人 | ピアカウンセリング、話し合いなど |

### (5) 関係機関等との調整会議

発達障害児（者）支援のネットワークの構築を目的とした会議を開催している。

表1 開催状況

|    | 発達障害<br>全般 | 療育 | 医療 | 教育 | 保健 | 福祉 |
|----|------------|----|----|----|----|----|
| 回数 | 10         | 0  | 2  | 3  | 2  | 1  |

|    | 就 労 | 自立支援 | その他 | 合 計 |
|----|-----|------|-----|-----|
| 回数 | 7   | 19   | 8   | 52回 |

## (6) 発達障害者関係機関連絡会

発達障害者の乳幼児期から成人期までの、各ライフステージに対応した支援がより適切に行われることを目指し、関係機関の密な連携を図ることを目的として、19年度より開催している。

| 連絡会        | 日時                    | 内容                  | 参集機関   |
|------------|-----------------------|---------------------|--|
| 児童相談所との連絡会 | 平成20年<br>6月20日<br>(金) | 発達障害児・者支援の現状及び課題等   | 金沢市児童相談所、中央児童相談所、七尾児童相談所、県障害保健福祉課、こころの健康センター（相談課）、パース  |
| 就労支援機関連絡会  | 平成21年<br>2月27日<br>(金) | 発達障害者への就労支援の状況及び課題等 | 石川障害者職業センター、金沢公共職業安定所、ヤングハローワーク、障害者就業・生活支援センター、いしかわ地域若者サポートステーション、知的障害者更生相談所、金沢市児童相談所、中央児童相談所、七尾児童相談所、県障害保健福祉課、こころの健康センター（相談課）、パース |

(7) 機関コンサルテーション

関係機関に対する障害児（者）への関わり方等についての助言を実施している。

表1 対象機関及び支援内容

|      |                           | 実支援施設数 | 延支援件数 |
|------|---------------------------|--------|-------|
| 対象機関 | 小・中 学 校                   | 4      | 6     |
|      | 放 課 後 児 童 ク ラ ブ           | 1      | 1     |
|      | 市 教 育 研 究 所               | 1      | 8     |
|      | 合 計                       | 6カ所    | 15件   |
| 支援内容 | 障 害 特 性 の 理 解             |        | 0     |
|      | 指 導 ・ 対 応 方 法 の 助 言 ・ 指 導 |        | 10    |
|      | 心 理 査 定                   |        | 0     |
|      | 事 例 検 討                   |        | 3     |
|      | 研 修 会                     |        | 2     |
|      | そ の 他                     |        | 0     |
|      | 合 計                       |        | 15件   |



## (8) 個別支援のための調整会議

関係機関による会議を開催し、障害児（者）に関して、共通認識を図り、よりよい支援を検討している。

表1 年齢別

|     | 0～6歳 | 7～12歳 | 13～18歳 | 19歳以上 | 合計  |
|-----|------|-------|--------|-------|-----|
| 実人員 | 6    | 8     | 7      | 15    | 36人 |
| 延件数 | 12   | 12    | 11     | 24    | 59件 |

表2 障害種別

| 障害種別      | 実支援人員 |
|-----------|-------|
| 自閉症       | 24    |
| アスペルガー症候群 | 6     |
| A D / H D | 3     |
| L D       | 0     |
| その他       | 1     |
| 不明（未診断含む） | 2     |
| 合計        | 36人   |

自閉症：自閉症及び広汎性発達障害（知的障害を伴う、知的障害の有無不明）

アスペルガー症候群：高機能自閉症、高機能広汎性発達障害を含む

表3 会議テーマ

| 内容    | 開催件数 |
|-------|------|
| 家庭生活  | 5    |
| 健康・医療 | 9    |
| 教育    | 18   |
| 保育    | 3    |
| 療育支援  | 1    |
| 進路相談  | 1    |
| 自立支援  | 0    |
| 就労支援  | 22   |
| その他   | 0    |
| 合計    | 59回  |

### (9) 普及啓発及び研修

発達障害児（者）の理解及び支援を積極的に進めるため、一般を対象とした普及啓発及び関係機関の職員を対象とした研修会を実施している。

表1 公開講演会及び研修会開催状況

| 日時                    | 会場                                       | 内容   | 講師   | 対象者及び人数  |
|-----------------------|--|--|--|--|
| 平成20年<br>5月17日<br>(土) | 県立中央病院<br>健康教育館<br>こころの<br>健康センター<br>研修室 | 平成20年度発達障害相談支援強化研修第1回<br>1. 公開講演会<br>「発達障害の早期発見・早期支援」<br>2. 事例検討会    | まな星クリニック<br>院長<br>中島 洋子  | 保健師、保育士、<br>相談員、心理士等<br>1. 公開講演会<br>173名<br>2. 事例検討会<br>62名<br>延べ 235名 |
| 平成20年<br>6月17日<br>(火) | こころの<br>健康センター<br>研修室                    | 保護者のための就労支援<br>セミナー第一部<br>学習会<br>「発達障害を持つ人の<br>就労支援の実際」              | 金沢公共職業安定所<br>竹腰 弘毅<br>石川障害者職業センター<br>山本 健夫<br>金沢障害者就業・生活支援センター<br>松本 千春<br>石川県発達障害支援センター<br>宮下 千代子 | 保護者等<br>46名  |
| 平成20年<br>6月30日<br>(月) | 県立中央病院<br>健康教育館<br>こころの<br>健康センター<br>研修室 | 平成20年度発達障害相談支援強化研修第2回<br>1. 公開講演会<br>「自閉症についての本質的な理解と支援」<br>2. 事例検討会 | 福井大学<br>教育地域科学部<br>発達科学講座<br>教授<br>熊谷 高幸   | 保健師、保育士、<br>相談員、心理士等<br>1. 公開講演会<br>164名<br>2. 事例検討会<br>72名<br>延べ 236名 |

|                            |                                       |  |   |  |
|----------------------------|---------------------------------------|--|---|--|
| 平成 20 年<br>7 月 9 日<br>(水)  | こころの<br>健康センター<br>研修室                 | 平成 20 年度<br>石川県発達障害支援センタ<br>ー研修会 I<br>「保育士、幼稚園教諭に求<br>められるもの～ひとりを見<br>つめて、みんなを見つめて<br>～」   | NPO 法人日本<br>ポーターズ協会<br>石川湖南支部<br>認定指導員<br>小坂 正栄 | 保育士、<br>幼稚園教諭<br>52 名  |
| 平成 20 年<br>7 月 11 日<br>(金) | 県立中央病院<br>健康教育館                       | 平成 20 年度<br>石川県発達障害支援センタ<br>ー研修会 II<br>「集団の中での支援を考え<br>る～ひとりを見つめて、み<br>んなを見つめて～」           | NPO 法人日本<br>ポーターズ協会<br>石川湖南支部<br>認定指導員<br>小坂 正栄 | 放課後児童<br>クラブ職員<br>108 名  |
| 平成 20 年<br>8 月 29 日<br>(金) | こころの<br>健康センター<br>研修室                 | 平成 20 年度発達障害相談<br>支援強化研修第 3 回<br>1. 公開講演会<br>「つなぎとしての専門家の<br>役割－家族支援のあり方－<br>」<br>2. 演習    | 立正大学<br>心理学部教授<br>中田 洋二郎                        | 保健師、保育士、<br>相談員、心理士等<br>1. 講演会<br>62 名<br>2. 演習<br>58 名<br>延べ 120 名      |
| 平成 20 年<br>8 月 30 日<br>(土) | 石川県地場<br>産業振興センター<br>新館コンベン<br>ションホール | 発達障害者支援講演会<br>「我々支援者に求められる<br>もの～発達障害の理解と対<br>応～」  | 立正大学<br>心理学部教授<br>中田 洋二郎                        | 保健師、保育士、<br>心理士、相談員等<br>161 名  |
| 平成 20 年<br>9 月 29 日<br>(月) | こころの<br>健康センター<br>研修室                 | 平成 20 年度発達障害相談<br>支援強化研修第 4 回 1. 公<br>開講演会「地域での支援体<br>制の充実（連続性を持った<br>地域での連携）」<br>2. 事例検討会 | 国立特別支援教育<br>総合研究所<br>藤井 茂樹                      | 保健師、保育士、<br>相談員、心理士等<br>1. 公開講演会<br>82 名<br>2. 事例検討会<br>62 名<br>延べ 144 名 |

|                             |  |  |   |  |
|-----------------------------|--|--|---|--|
| 平成 20 年<br>10 月 28 日<br>(火) | こころの<br>健康センター<br>研修室                    | 保護者のための就労支援セ<br>ミナー第二部<br>1. 講演会<br>「はたらく大人になるため<br>に～就労に向け、家庭でな<br>にを育てるか～」<br>2. 情報交換会 | N P O 法人ジョブ<br>コーチ・ネットワ<br>ーク事務局<br>臨床心理士<br>角田 みすず                           | 保護者他<br>1. 講演会<br>83 名<br>2. 情報交換会<br>24 名<br>延べ 107 名                             |
| 平成 20 年<br>11 月 29 日<br>(土) | 県立中央病院<br>健康教育館<br>こころの<br>健康センター<br>研修室 | 平成 20 年度発達障害相談<br>支援強化研修第 5 回<br>1. 公開講演会<br>「2 次障害の予防と対応」<br>2. 事例検討会                   | 宮川医療少年院<br>院長<br>小栗 正幸  | 保健師、保育士、<br>相談員、心理士等<br>1. 公開講演会<br>128 名<br>2. 事例検討会<br>60 名<br>延べ 188 名          |
| 平成 21 年<br>1 月 26 日<br>(月)  | こころの<br>健康センター<br>研修室                    | 平成 20 年度発達障害相談<br>支援強化研修第 6 回<br>1. 事例紹介<br>2. 各機関の取り組み<br>について                          | サポートアメリテ<br>ィあらいぶ<br>松柳 治美<br>中央児童相談所<br>尾田 卷子<br>石川県発達障害支<br>援センター<br>宮下 千代子 | 保健師、保育士、<br>相談員、心理士等<br>1. 事例紹介<br>60 名<br>2. 各機関の取り<br>組みについて<br>60 名<br>延べ 120 名 |
| 平成 21 年<br>2 月 27 日<br>(月)  | こころの<br>健康センター<br>研修室                    | 就労支援研修会<br>講演会<br>「発達障害を持つ人への就<br>労支援」   | 社会福祉法人電機<br>神奈川福祉センタ<br>ー<br>常務理事<br>志賀 利一                                    | 福祉、教育、労働<br>機関等関係者<br>64 名   |

## 1 保健所の精神保健福祉活動（平成 20 年度）

### 精神保健福祉相談・訪問状況

内容別相談<複数選択>（電話・来所・訪問）

| 保健所                  |          | 区分 | 老人精神<br>保健 | 社会復帰 | アルコール | 薬物 | 思春期 | 心の健康<br>づくり | その他 | 合計(延) |
|----------------------|----------|----|------------|------|-------|----|-----|-------------|-----|-------|
|                      |          |    |            |      |       |    |     |             |     |       |
| 南加賀保健<br>福祉センター      | 電話       |    | 18         | 110  | 5     | 0  | 35  | 77          | 583 | 828   |
|                      | 来所(実114) |    | 16         | 64   | 2     | 0  | 20  | 35          | 148 | 285   |
|                      | 訪問(実60)  |    | 3          | 39   | 0     | 0  | 2   | 17          | 130 | 191   |
| 加賀地域<br>センター         | 電話       |    | 9          | 33   | 7     | 3  | 7   | 88          | 2   | 149   |
|                      | 来所(実25)  |    | 5          | 10   | 4     | 2  | 0   | 53          | 0   | 74    |
|                      | 訪問(実18)  |    | 2          | 15   | 1     | 0  | 0   | 20          | 12  | 50    |
| 石川中央保<br>健福祉セン<br>ター | 電話       |    | 7          | 60   | 11    | 0  | 66  | 52          | 393 | 589   |
|                      | 来所(実87)  |    | 3          | 24   | 3     | 1  | 45  | 39          | 36  | 151   |
|                      | 訪問(実25)  |    | 1          | 32   | 0     | 0  | 2   | 1           | 38  | 74    |
| 河北地域セン<br>ター         | 電話       |    | 6          | 525  | 12    | 2  | 0   | 163         | 12  | 720   |
|                      | 来所(実33)  |    | 2          | 80   | 1     | 0  | 0   | 16          | 3   | 102   |
|                      | 訪問(実23)  |    | 1          | 43   | 0     | 0  | 0   | 3           | 0   | 47    |
| 能登中部保<br>健福祉セン<br>ター | 電話       |    | 48         | 233  | 6     | 0  | 13  | 51          | 8   | 359   |
|                      | 来所(実88)  |    | 9          | 105  | 5     | 0  | 14  | 41          | 0   | 174   |
|                      | 訪問(実44)  |    | 7          | 153  | 2     | 1  | 5   | 16          | 0   | 184   |
| 羽咋地域<br>センター         | 電話       |    | 1          | 199  | 6     | 0  | 1   | 3           | 277 | 487   |
|                      | 来所(実44)  |    | 1          | 22   | 1     | 0  | 0   | 1           | 73  | 98    |
|                      | 訪問(実28)  |    | 4          | 88   | 0     | 0  | 1   | 0           | 34  | 127   |
| 能登北部保<br>健福祉セン<br>ター | 電話       |    | 72         | 674  | 57    | 0  | 127 | 16          | 11  | 957   |
|                      | 来所(実98)  |    | 17         | 101  | 21    | 0  | 28  | 7           | 3   | 177   |
|                      | 訪問(実93)  |    | 21         | 170  | 10    | 0  | 17  | 0           | 1   | 219   |
| 珠洲地域<br>センター         | 電話       |    | 4          | 78   | 2     | 0  | 1   | 0           | 0   | 85    |
|                      | 来所(実38)  |    | 6          | 25   | 2     | 2  | 16  | 0           | 5   | 56    |
|                      | 訪問(実13)  |    | 14         | 14   | 3     | 1  | 0   | 0           | 0   | 32    |
| 泉野福祉健<br>康センター       | 電話       |    | 16         | 1095 | 17    | 2  | 1   | 163         | 25  | 1319  |
|                      | 来所(実91)  |    | 1          | 155  | 2     | 0  | 1   | 38          | 1   | 198   |
|                      | 訪問(実64)  |    | 1          | 177  | 2     | 0  | 0   | 16          | 0   | 196   |
| 元町福祉健<br>康センター       | 電話       |    | 21         | 519  | 16    | 5  | 11  | 51          | 2   | 625   |
|                      | 来所(実96)  |    | 4          | 120  | 1     | 0  | 8   | 24          | 0   | 157   |
|                      | 訪問(実60)  |    | 2          | 86   | 4     | 0  | 2   | 16          | 1   | 111   |
| 駅西福祉健<br>康センター       | 電話       |    | 92         | 640  | 32    | 7  | 0   | 77          | 27  | 875   |
|                      | 来所(実114) |    | 25         | 88   | 22    | 1  | 0   | 32          | 5   | 173   |
|                      | 訪問(実58)  |    | 25         | 86   | 4     | 0  | 0   | 4           | 6   | 125   |

## 2 その他の資料

### こころの健康センター貸出しビデオテープ・DVD 一覧

#### ビデオテープ (VHS 方式)・DVD

(平成 20 年 12 月 現在)

| 分類                         | 番号                       | 題名  | 上映時間 | 対象者  | 内容   |
|----------------------------|--------------------------|---|------|--|--|
| 児<br>童                     | 2101                     | SOSから笑顔へ<br>～いじめ・登校拒否から自立を待つ～                   | 60分  | 小・中・高<br>校生・一般   | 登校拒否の生徒を立ち直らせた事例の紹介。   |
|                            | 2102～<br>2106            | 子そだてたまご (1)～(5)                                 | 各60分 | 一般   | 0才～小学生の子どもについて、親子・育児・あそび・食事<br>などテーマ別に描いた家庭教育ビデオ。                          |
|                            | 2107                     | よい子のため息S・O・S                                    | 30分  | 母親   | 子供もため息をついている。(悩んでいる)   |
|                            | 2108                     | いじめ   | 30分  | 中高生  | 先生は動いてくれなかった。先生は信じてくれない。仲間<br>はずれが一番つらい。                                   |
|                            | 2109                     | あなたの心、元気ですか！                                    | 20分  | 一般   | 高校生及び、心の病を理解し、どのように対処するかの工夫<br>を考え、学ぶことを目的としたビデオ。                          |
|                            | 2110                     | 夢はお母さんと二人っきり                                    | 32分  | 母親   | 幼児は、妹や弟が出来ると母親を独占したいと思うようになる。  |
|                            | 2111                     | 子育てに自信をなくしているあなたへ                               | 15分  | 育児者  | 育児の悩みの解消策について。   |
|                            | 2112                     | 子ども虐待防止対策ビデオ<br>「MCGとは何か」                       | 15分  | 母親   | MCGとは東京都世田谷区の取り組みで、母と子の関係を<br>考える会(グループミーティング)のこと。                         |
| こ<br>こ<br>ろ<br>の<br>健<br>康 | 2201                     | 職場ストレスと健康<br>第1集 ストレスとは                         | 16分  | 一般   | ストレスとは、人間の心と体に対して外部からの社会的・精<br>神的・肉体的刺激が加わり、心身にマイナスが生じた状態。                 |
|                            | 2202                     | 職場ストレスと健康<br>第2集 職場ストレス                         | 18分  | 一般   | 複雑な人間関係や過剰な残業により、神経症やうつ状態に<br>陥る人が増えた。                                     |
|                            | 2203                     | 職場ストレスと健康<br>第3集 職場ストレスと健康防衛                    | 19分  | 一般   | ストレス症候群に対するには、ストレスの防衛を考える。   |
|                            | 2204                     | 小此木敬吾による症例分析                                    | 30分  | 一般   | 慶應義塾大学医学部精神神経科助教授 小此木敬吾氏の講演。<br>(メンタルヘルスを各職場、企業の中で実践する方法について)              |
|                            | 2205                     | セルフコントロール医学への道                                  | 58分  | 一般   | 東大医学部分院心療内科長 石川 中氏の講演。(患者自身<br>が、病理について熟知し、自分で自分の心身をセルフコント<br>ロール出来るようにする) |
|                            | 2206                     | うつの時代   | 30分  | 一般   | 日本精神病院協会会長 斉藤茂太氏のうつに関する講演会。  |
|                            | 2208                     | 現代人のメンタルヘルス<br>(心の病気)                           | 29分  | 一般   | 神経症・心身症・精神分裂病・うつ病・そう病・アルコール<br>依存症などが一般的。                                  |
|                            | 2209                     | 管理・監督者のための<br>ストレスマネジメント                        | 40分  | 管理者  | 管理者として部下のストレス対策は、どうあるべきか。  |
|                            | 2210                     | 中・高年期の精神保健                                      | 23分  | 一般   | 65歳以上の老人の2割程度が、何らかの心の病気を持って<br>いる。老人の心の病気を説明。                              |
|                            | 2211                     | その場でできるやさしい疲労回復法<br>健康ストレッチング                   | 20分  | 一般   | デスクワークの人達のために、ストレッチングを中心とし<br>て様々な疲労回復方法を教示する。                             |
|                            | 2212                     | 災害と心のケア   | 42分  | 一般   | 災害等の非常時に遭遇した時に、心的障害に対してどのよ<br>うに対処すべきか。                                    |
|                            | 2213                     | 開くーかけるーつなぐー精神保健ボ<br>ランティアーいっしょにいこうよ             | 39分  | 一般   | いろいろな精神保健ボランティアを紹介すると共にその大<br>切さを訴える。                                      |
|                            | 2214                     | 開くーかけるーつなぐー精神保健ボ<br>ランティアースタンドバイミーーもっ<br>とちかくにー | 43分  | 一般   | 作業所等にボランティアが集う。  |
|                            | 2215                     | おかえり  | 99分  | 一般   | 新婚の妻が幻覚妄想状態になったが、治療を拒む妻の要求<br>を受け入れた夫が一晩の入院で退院させることになる映画。                  |
|                            | 2216                     | 小さなほほえみのために ～乳幼児突然<br>死症候群SIDSから赤ちゃんを守る～        | 5分   | 一般   | 2千人に1人の割合で死亡者が発生。眠っている間に死ぬ。<br>1歳未満の赤ちゃん。                                  |
| 2217-1                     | 企業戦士のメンタルヘルス<br>①五月病症候群  | 20分   | 一般   | 五月病は、学生は受験後、新社会人は社内研修が終わった後<br>等次の環境にうまく順応出来ない人(まじめな人、過保護の<br>人、交際相手の少ない人等)が危ない。 |  |
| 2217-2                     | 企業戦士のメンタルヘルス<br>②入社拒否症候群 | 20分   | 一般   | A心身症、I軽症うつ症、U無気力症 エーズの休みに分<br>類され、A及びIのタイプが断然多い。                                 |  |
| 2217-3                     | 企業戦士のメンタルヘルス<br>③燃えつき症候群 | 20分   | 一般   | 無気力になる。仕事熱心、有能な人、几帳面な人、ゆとり<br>や融通性に欠ける人が危ない。                                     |  |

| 分類     | 番号            | 題名                                  | 上映時間 | 対象者          | 内容  |
|--------|---------------|-------------------------------------|------|--------------|---|
| こころの健康 | 2217-4        | 企業戦士のメンタルヘルス<br>④帰宅恐怖症候群            | 16分  | 一般           | 家へ帰りたくても、家庭に父親の存在場所が無いため帰れない。クリニックへ駆け込み寺のように駆け込んでくる。妻の言動の影響が大きい。                |
|        | 2217-5        | 企業戦士のメンタルヘルス<br>⑤スーパーウーマン症候群        | 20分  | 一般           | スーパーウーマン症候群とは、スーパーウーマンになろうとして起ってくるストレス精神障害。①職場の第一人者 ②妻として充実した家庭 ③母親としての子育て等を望む。 |
|        | 2218          | 根絶! 夫からの暴力<br>あなたは悩んでいませんか?         | 27分  | 一般           | 平成13年4月に配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律が施行された。  |
|        | 2219          | こころだって風邪をひく<br>～メンタルヘルス対策を進めよう!～    | 41分  | 一般           | 平成12年8月に、労働省から発表された事業場における労働者の心の健康づくりのための指針について。                                |
|        | 2220          | ドメスティックバイオレンスは犯罪です                  | 20分  | 一般           | 日本各地に駆け込みシェルターがある。  |
|        | 2221          | 再出発へのサポート ～女のスペース・おん駆け込みシェルターの現場から～ | 18分  | 一般           | DVから逃れてくる女性達の駆け込みシェルターの現状と問題点を描く。   |
|        | 2222          | 米国東海岸の挑戦 前編                         | 23分  | 一般           | ボストン、ケンブリッジをはじめとする米国東海岸地域は、ドメスティックバイオレンスに対する先進的な取り組みで知られている。                    |
|        | 2223          | 米国東海岸の挑戦 後編                         | 21分  | 一般           | マサチューセッツ州におけるドメスティックバイオレンスの被害者へのサポートと、加害者への対処は進んでいる。ある被害者女性へのサポート状況を紹介。         |
|        | 2224          | ひきこもる心と向き合うには                       | 73分  | 一般           | ひきこもりの子供を持つ家族の心構えについて。  |
|        | 2225          | あなたの心元気ですか!                         | 19分  | 高校生          | 多感な時期にある高校生が心の病を理解し、どのように対処するか工夫を考え、学ぶために制作された。                                 |
|        | 2226          | ストーカー対策<br>女性が身を守るために               | 30分  | 女性<br>一般     | ストーカー犯罪を中心に、女性が被害者になる犯罪事例をドラマで再現し、対策を解説。  |
|        | 2227          | なくせ! ストーカー!<br>心の闇に潜むもの…            | 40分  | 女性<br>一般     | ドラマを用い、ストーカー犯罪を分かりやすく解説。ストーカー被害に遭わないようにし、ストーカーを作らないようにする方法を示唆。                  |
|        | 2228          | 映像版・いいかげんに生きよう                      | 22分  | 一般           | 摂食障害者の自助グループNABA 活動編。   |
| 老人精神保健 | 2301          | 花いちもんめ                              | 127分 | 一般           | 老人性アルツハイマー型痴呆症の男性に振り回される家族と親族の苦悩を描いた映画。   |
|        | 2302          | ぼけのお年寄り介護                           | 22分  | 一般           | 高齢化社会の到来を見越し、ぼけのお年寄り介護の方法が、真剣に探し求められている。  |
|        | 2303          | 痴呆性老人の介護者のために～心の旅路～                 | 77分  | 一般           | 在宅老人(一人暮らし)に対する訪問看護の仕方について。   |
|        | 2304～<br>2305 | 痴呆老人の看護(1)(2)                       | 各20分 | 一般           | 痴呆老人の特徴(症状)とそのかわりについて解説。  |
|        | 2306          | 痴呆性老人の在宅介護!<br>～ぼけの病状に対応するために～      | 24分  | 一般           | ぼけの老人に対する在宅介護の仕方について。   |
|        | 2307          | 痴呆性老人の在宅介護II<br>～ぼけのお年寄りの正しい理解のために～ | 25分  | 一般           | 千葉県にある稲毛ホワイエの紹介。(週3日、昼間の間、ボランティアの人達がボケのお年寄りの世話をする施設)                            |
|        | 2308          | 痴呆性老人の家庭介護I<br>～痴呆の理解と支援サービス～       | 32分  | 一般           | 痴呆とはどのようなものかを教示すると共に、痴呆性老人の家庭介護方法を教える。  |
|        | 2309          | 痴呆性老人の家庭介護II<br>～家庭介護の実際～           | 28分  | 一般           | 家庭介護の基本的な心構えを、3人の体験者談を参考にまとめた。  |
|        | 2310          | 心がうごけば身体も動く(上)                      | 23分  | 一般           | 楽しくリハビリに取り組む老人の姿を描いたもの。どうしても自分の足で立ってみたい!  |
|        | 2311          | 雪見橋は行く                              | 25分  | 一般           | 岩手県の豪雪地帯にある二つの村の老人医療面での画期的な成果を描いたもの。  |
|        | 2314          | もし痴呆が起きたら<br>～アルツハイマー型老年痴呆の介護編～     | 23分  | 一般           | アルツハイマー型痴呆老人に対する介護の仕方について。  |
|        | 2316          | おとしよりの介護 「第8巻」                      | 37分  | 一般           | 痴呆性老人の問題行動と予防のてだてについて説明。  |
|        | 2317          | 人は薬 痴呆性老人と介護のコツ                     | 25分  | 一般           | 痴呆性老人に対する介護の仕方について。   |
| 2415   | ひとりぼっちをなくそう   | 40分                                 | 一般   | 精神障害者本人の会の紹介 |   |
| 精神保健   | 2401          | 君は空の青さを知っているか                       | 24分  | 一般           | 神奈川県における各作業所の取り組みを描いたもの。  |
|        | 2403          | 150万人の訴え                            | 29分  | 一般           | 全国で150万人の精神障害者が、世間からの偏見と差別で苦しんでいる。  |
|        | 2404          | つらい養成邑病院(釧路のロマン)                    | 40分  | 一般           | ある医師が、釧路で「人間解放」「自然に帰れ」を理念とした画期的な病院を開設した。  |

| 分類          | 番号                           | 題名                                     | 上映時間       | 対象者                                | 内容   |
|-------------|------------------------------|--|------------|------------------------------------|--|
| 精神          | 2405                         | ひとりぼっちじゃない<br>～自立するファウンテンハウス～          | 35分        | 一般                                 | ニューヨークにある精神障害者の社会復帰施設、ニューヨークファウンテンハウスの紹介。                            |
|             | 2406                         | 僕たちのみたく青い空                             | 24分        | 一般                                 | 神奈川県内の患者会「やまゆり会」の活動の様子を描いたもの。  |
|             | 2407                         | 正しい知識は回復への道                            | 14分        | 一般                                 | 統合失調症は、正しい知識があれば治る病気である。   |
|             | 2408                         | ゆっくり治療し再発を防ごう                          | 14分        | 一般                                 | 統合失調症の治療と再発を防ぐ方法。  |
|             | 2409                         | 私たちは家族<br>～アメリカ家族会発展の秘密～               | 25分        | 一般                                 | ナミ「NAMI」（日本で言う全家連）についての発展とその紹介。                                      |
|             | 2410                         | 支えあうなかで<br>～精神障害者とその仲間たち～              | 35分        | 一般                                 | JHC板橋と作業所「えごのみ」の紹介。  |
|             | 2411                         | 精神障害者が受けられる税制上の特典                      | 11分        | 一般                                 | 精神障害者には、各種税金にかかる基礎控除、非課税、減免が認められている。                                 |
|             | 2412                         | 今ここにいきる<br>～精神障害者とともに～                 | 29分        | 一般                                 | 高知県における精神保健活動の紹介。  |
|             | 2413                         | ここにおいでよ<br>～精神障害者を支える地域作業所～            | 30分        | 一般                                 | 地域作業所の紹介。  |
|             | 2414                         | 知っておきたい薬の知識                            | 15分        | 一般                                 | 統合失調症の治療薬についてわかりやすく説明。   |
|             | 2416                         | サンフランシスコのハーフウェイハウス                     | 20分        | 一般                                 | サンフランシスコで活発に活動している病院と家庭の中間にあたる施設の紹介。                                 |
|             | 2419                         | 全家連 30年のあゆみ                            | 31分        | 一般                                 | 日本全家連の生い立ちから現在までの歴史。   |
|             | 2420                         | あちこたねえ<br>～精神障害者の地域生活支援～               | 30分        | 一般                                 | 新潟県のすもん村にある通所授産施設の紹介。「あちこたねえ」とはもうだいじょうぶという意味。                        |
|             | 2430                         | 僕たちは飛行機に乗った                            | 41分        | 一般                                 | 通所授産施設「またたびの家」のメンバーが、飛行機で沖縄旅行した記録。                                   |
|             | 2431～<br>2432                | 精神障害者ケアマネジメント<br>第1巻 第2巻               | 38分<br>48分 | 一般                                 | 精神障害者ケアマネジメントの進め方について説明。   |
|             | 2433                         | 精神保健福祉ビデオシリーズ<br>③精神障害者をもつ人への援助の実際     | 23分        | 一般                                 | 病院と患者の中間施設として諸々の施設が存在する。   |
|             | 2434                         | 精神保健福祉ビデオシリーズ<br>④精神障害をもつ人のケアマネジメント    | 21分        | 一般                                 | 基本的な考え方を基に、諸々の取り組みが行われている。   |
|             | 2435                         | 精神保健福祉ビデオシリーズ<br>⑤ノーマライゼーション           | 27分        | 一般                                 | 精神障害者に対するノーマライゼーション社会の実現を目指す。  |
|             | 2436～<br>2437                | あせらずにゆとりをもってむりしない前編・後編                 | 38分<br>30分 | 一般                                 | 統合失調症を中心とした精神障害の心理教育のためにつくられたビデオ。                                    |
|             | 2438                         | 心理 教育による精神障害者の<br>家族支援                 | 34分        | 一般                                 | 統合失調症歴があり、今は両親と療養生活を送る男性を例として精神障害者の家族に対する心理教育の大切さを訴える。               |
|             | 2439                         | 統合失調症を生きる 妄想編その1<br>～四六時中のぞかれていた七年間～   | 32分        | 一般<br>青年                           | 23歳で統合失調症を発症した女性の、7年間にわたる戦いを描いたもの。                                   |
|             | 2440                         | 統合失調症を生きる 妄想編その2<br>～ヒーローたちの戦い～        | 35分        | 一般<br>青年                           | 20代で統合失調症を発症した男性の体験を、同じ経験を持つ仲間と語り合う様子を描いたもの。                         |
|             | 2441                         | 今日の精神科入院医療<br>～心の病気を克服するために～           | 26分        | 一般                                 | 18歳の大学受験生が、統合失調症と診断され医療保護入院となるが、順調に回復し通院治療となる。精神保健福祉法の解説と一般的な治療法を紹介。 |
|             | 2442                         | 精神保健福祉ビデオシリーズII<br>共生の時代へ 第4巻ピアカウンセリング | 23分        | 一般                                 | ピアカウンセリングの実際と概要。   |
| 2443        | 正しく理解し回復を目指そう                | 20分                                    | 一般         | 2407、2408、2414の改訂版。                |  |
| 2444        | 薬の作用と上手な付き合い方                | 20分                                    | 一般         |                                    |  |
| 2445        | この街で自分らしく生きる                 | 20分                                    | 一般         |                                    |  |
| 2446        | コートに輝く笑顔と汗 DVD               | 35分                                    | 一般         | 精神障害者バレーボール全国大会の様態を紹介。             |  |
| 2447        | ピアカウンセリングセミナー<br>基礎編シリーズ DVD | 284分                                   | 一般         | ピアカウンセリングを共に学ぶ仲間づくり。信頼関係づくりの基礎を学ぶ。 |  |
| アルコール<br>関連 | 2501                         | アルコールの害シリーズ ～酒害の予防～                    | 26分        | 一般                                 | 最近の犯罪の多くはアルコールと関連している。   |
|             | 2502                         | アルコールの害シリーズ<br>～10代の飲酒問題～              | 28分        | 一般                                 | 10代の飲酒問題は、極めて深刻な社会問題となっている。  |

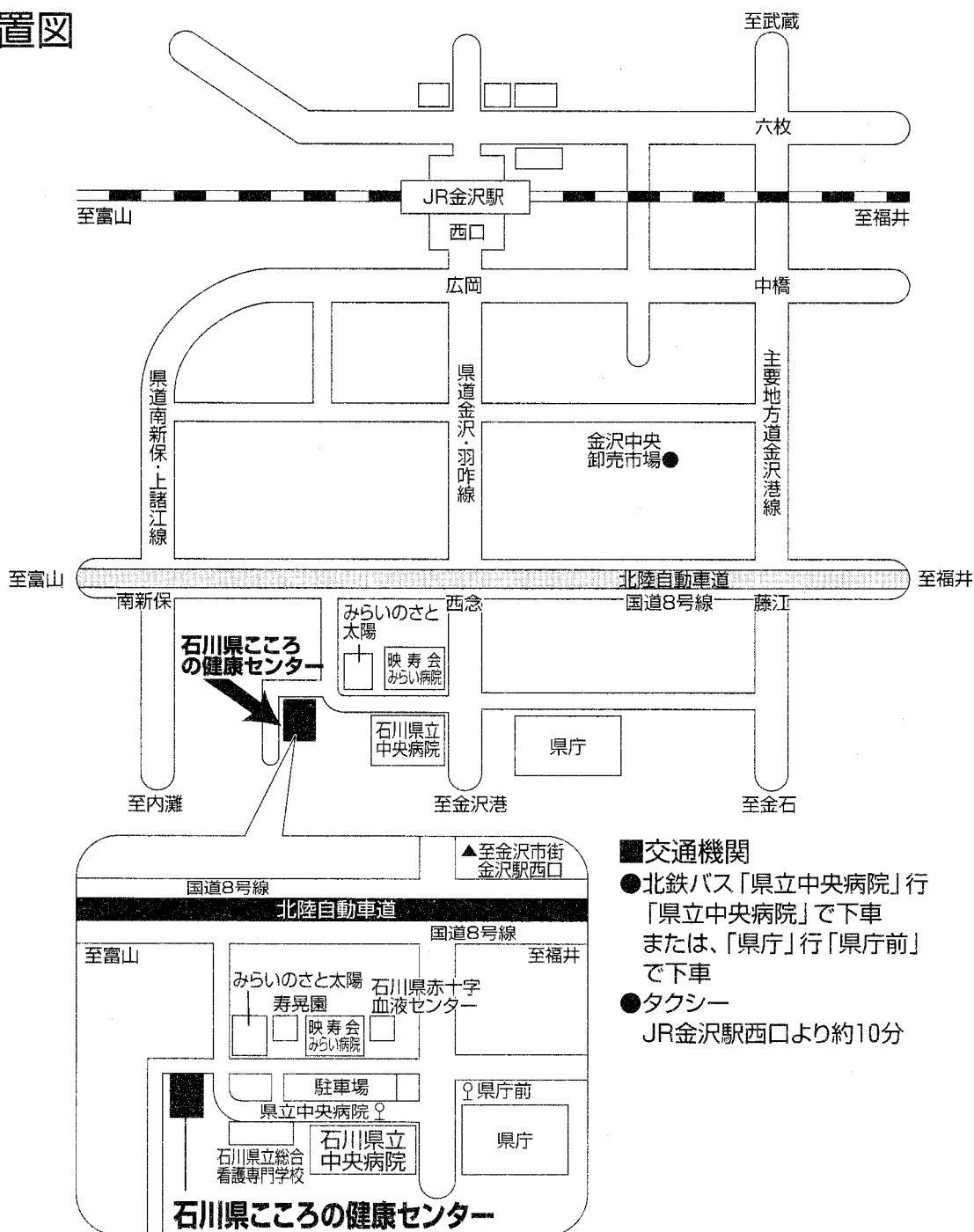


| 分類                              | 番号                        | 題名                               | 上映時間 | 対象者   | 内容  |
|---------------------------------|---------------------------|----------------------------------|------|---|---|
| ア<br>ル<br>コ<br>ー<br>ル<br>関<br>連 | 2503                      | アルコールの害シリーズ<br>～アルコール依存症者の家族～    | 14分  | 一般  | 家族と入院患者が、ファミリーウィークに話し合いをする。<br>(アメリカ)                                       |
|                                 | 2504                      | アルコールの害シリーズ<br>～女性とストレス～         | 21分  | 一般  | ある薬物、アルコール依存症の女性の実情を描く。   |
|                                 | 2505                      | アルコールの害シリーズ<br>～胎児性アルコール症候群～     | 10分  | 一般  | 妊娠中の女性がアルコールを飲むと、胎児性アルコール症候群の赤ちゃんが産まれる。                                     |
|                                 | 2506                      | アルコール依存症とは                       | 28分  | 一般  | あるアルコール依存症者の体験をもとに構成された。  |
|                                 | 2507                      | アルコール依存症者の心理                     | 20分  | 一般  | 多くのアルコール依存症を克服した人々のインタビューをもとに構成された。   |
|                                 | 2508                      | アルコール依存症<br>～家族の心理～              | 23分  | 一般  | 多くのアルコール依存症を克服した家族のインタビューをもとに構成された。   |
|                                 | 2509                      | アルコール依存症<br>～アルコール依存症からの回復～      | 27分  | 一般  | あるアルコール依存症者の体験をもとに構成された。  |
|                                 | 2510                      | アルコール依存症<br>～酒なし生活術～             | 20分  | 一般  | 神と悪魔が戦っている。その戦場は、人間の心の中である。自分の自覚がいつ持てるか。                                    |
|                                 | 2511                      | 酒とバラの日々                          | 122分 | 一般  | ある若い夫婦がアルコールによって、共に墮落の人生に落ち込んで行く様子を描いた映画。                                   |
|                                 | 2512                      | 老化と飲酒                            | 26分  | 老人  | 老人は、適正飲酒を心がけること。  |
|                                 | 2513                      | アルコールと循環器                        | 20分  | 一般  | アルコールは、肝臓はもとより心臓にも多大な影響を与える。  |
|                                 | 2514                      | 肝臓とアルコール代謝                       | 29分  | 一般  | アルコールに対する肝臓の働きを解説したもの。  |
|                                 | 2515                      | あと一杯が飲めるか<br>～ソーシャルリンカーへの手引き～    | 43分  | 一般  | 日頃、適正飲酒の指導などを行っている保健師さんが、飲酒によって起こる障害を予防するにはどうしたらよいかを精神科医と内科医に教示をうけた。        |
|                                 | 2516                      | 酒飲み上手は生き上手                       | 16分  | 青少年   | 若いあなたへ、上手な飲酒のアドバイス。飲酒量の単位とは何か。肝臓の処理能力は、1単位の消化に3時間必要である。妊娠中の女性の飲酒は絶対危険。      |
|                                 | 2517                      | お酒と人生<br>～飲み方・酔い方・楽しみ方～          | 17分  | 一般  | 飲酒に関して、1単位ではほろ酔いかげん・2単位では本格的な酔い、体温が上昇、みゃくが早くなる・3単位ではめいてい期、気が大きくなっておこりっぽくなる。 |
|                                 | 2518                      | アルコールキッド<br>～今、お酒にはふれないで～        | 9分   | 青少年   | 若年者が飲んだアルコールは脳細胞の破壊を進める。又、肝臓で分解されてアセトアルデヒドに酸化されるが、これを分解する酵素の働きが弱い。          |
|                                 | 2519                      | 未成年者とアルコール                       | 23分  | 未成年者  | 未成年者の飲酒とイッキ飲み被害の防止を訴える。   |
|                                 | 2520                      | アルコール依存症<br>～依存症の概要～             | 29分  | 一般  | 酒を止められない病気である。アルコール離脱症状の出現。断酒以外に回復の道がない。                                    |
|                                 | 2521                      | アルコール依存症 ～ケース事例～                 | 35分  | 一般  | アルコール依存症になった人々の実例。  |
|                                 | 2522                      | アルコール依存症 ～専門職の活動～                | 33分  | 一般  | アルコール依存症者に対する相談・援助窓口について。   |
|                                 | 2523                      | お年寄りとお酒のつき合い方                    | 28分  | 老人  | お年寄りがお酒を飲むときの注意点について。   |
|                                 | 2524                      | お年寄りとアルコールの対策<br>～アルコール依存症は病気です～ | 22分  | 老人  | ある老人のアルコール依存症の実例。回復の方法を教示。老人のアルコール依存症は、年々増えている。                             |
|                                 | 2525                      | もうひとつの人生(上)                      | 45分  | 一般  | アルコール依存症になった人々の実例。  |
|                                 | 2526                      | もうひとつの人生(下)                      | 55分  | 一般  | 〃   |
|                                 | 2528～<br>2531             | アルコール依存症への道<br>(1)～(4)           | 各20分 | 一般  | 予防編(女性むけ、一般飲酒者むけ)<br>回復編(家族むけ、依存症本人むけ)<br>に分けて、説明。                          |
| 2532                            | 未成年者にアルコールなんかいらない         | 36分                              | 未成年者 | 最近、中・高校生の飲酒が急激に増加している。                                    |   |
| 2533                            | アダルトチャイルド                 | 32分                              | 一般   | 従来は、アルコール依存症の親のもとで育った人のことを言ったが、今では広く機能不全家族のもとで育った人のことを言う。 |   |
| 2534                            | アルコール依存症<br>～回復プロセスと再発予防～ | 40分                              | 一般   | 回復とはすなわち、再発を予防することでもある。                                   |   |
| 2535                            | 薬物依存<br>～孤独そして絶望からの脱出～    | 29分                              | 一般   | 群馬県藤岡市上日野にある民間薬物依存者回復施設「ダルク」についての紹介。                      |   |
| 2536                            | 強迫的ギャンブル回復施設<br>ワンダーポート   | 6分                               | 一般   | ギャンブル依存症者が共同生活をしながら回復を目指す施設『ワンダーポート』の紹介。                  |   |

| 分類     | 番号  | 題名   | 上映時間 | 対象者   | 内容  |
|--------|---|--|------|---|---|
| 心理面接技法 | 2601  | 自立訓練法の実際   | 30分  | 一般  | 心身をリラックスし、調整する、セルフコントロール法の実際を分かりやすく解説したもの。                          |
|        | 2602  | リラクゼーションの実際  | 19分  | 一般  | 筋弛緩法(生理的な緊張を解き、心理的な安静を得ようとするもの)                                     |
|        | 2603  | 続リラクゼーションの実際   | 17分  | 一般  | 筋弛緩法を実行してもうまくいかない人のためのA-B-A方式の解説。                                   |
|        | 2604  | 箱庭療法の基礎理論  | 19分  | 一般  | 砂箱と色々なミニチュアを使って行われる心理療法を解説。   |
|        | 2605  | 箱庭療法の症例研究  | 23分  | 一般  | 箱庭の作品は、絵画や粘土創作と比べて、じょうずへたが無く、誰にでも気軽に出来る。                            |
|        | 2606  | 絵画療法〔1〕  | 20分  | 一般  | 心身症と離人症を呈した患者が、絵画療法によって立ち直った例を、患者の方から描いたもの。                         |
|        | 2607  | 絵画療法の理論〔2〕   | 24分  | 一般  | その場で描いてもらう方法と、あらかじめ描いて持参してもらう方法がある。                                 |
|        | 2608  | 絵画療法の症例研究〔3〕   | 32分  | 一般  | 心身症と離人症を呈した患者が、絵画療法によって立ち直った例を、医師の方から描いたもの。                         |
|        | 2609  | ケースの心をとらえる面接Ⅰ  | 23分  | 一般  | どのような方法で面接を行えばよいかを教示している。   |
|        | 2610  | ケースの心をとらえる面接Ⅱ  | 27分  | 一般  | 就職を目前にした大学生に対するカウンセリングの仕方を教示している。                                   |
|        | 2611  | ロールシャッハテスト   | 30分  | 一般  | インクのしみて出来たカードを被検者に見せ、それぞれのカードに示される様々な反応を記録、検討して被検者の性格や人格像を見極める。     |
|        | 2612  | 心理療法としての箱庭と子どもへの適応の方法                                  | 51分  | 一般  | カルフ婦人が、子供が勉強で疲れた心を癒すために、箱庭療法を行いに来る。                                 |
|        | 2613  | フェイス トウ フェイス 1巻<br>～マイクロカウンセリング～                       | 24分  | 一般  | 他人とうまく付き合っていくための技法を、マイクロトレーニングという方法で教示する。                           |
|        | 2614  | フェイス トウ フェイス 2巻<br>～積極技法ほか～                            | 26分  | 一般  | いいかえと要約、感情の反映、フィードバック、積極技法。   |
|        | 2615  | フェイス トウ フェイス 3巻<br>～技法の統合ほか～                           | 29分  | 一般  | 焦点のあて方、主張、不一致と複雑なメッセージ、技法の統合。                                       |
|        | 2616  | 自立生活技能(S I L S)プログラム<br>デモンストレーション編<br>①モジュールの構成       | 24分  | 一般  | アメリカの精神科医師が、精神障害者の自立生活技能モジュールを開発した。                                 |
|        | 2617  | 自立生活技能(S I L S)プログラム<br>デモンストレーション編<br>②導入とビデオを用いた質疑応答 | 20分  | 一般  | 導入・・・技能領域の学習への適切な導入のやり方を教示。ビデオを用いた質疑応答・・・ビデオを用いながら、適切に質疑応答を行う方法を教示。 |
|        | 2618  | 自立生活技能(S I L S)プログラム<br>デモンストレーション編<br>③ロールプレイ         | 46分  | 一般  | ロールプレイの適切なやり方を教示。   |
|        | 2619  | 自立生活技能(S I L S)プログラム<br>デモンストレーション編<br>④実地練習ほか         | 56分  | 一般  | 日常生活の中で、実際にやること。  |
|        | 2620  | 自立生活技能(S I L S)プログラム<br>モジュール編<br>①服薬自己管理モジュール         | 63分  | 一般  | 抗精神病薬について知る、正確な自己服薬と評価の仕方を知る、薬の副作用を見分ける。                            |
| 2621   | 自立生活技能(S I L S)プログラム<br>モジュール編<br>②基本会話モジュール    | 42分  | 一般   | コミュニケーションの言語的要素と非言語的要素。                                     |   |
| 2622   | 自立生活技能(S I L S)プログラム<br>モジュール編<br>③病状自己管理モジュール  | 51分  | 一般   | 再発の注意サインを見つける、持続症状の対処方法を学ぶ。                                 |   |
| 2623   | 自立生活技能(S I L S)プログラム<br>モジュール編<br>④余暇の過ごし方モジュール | 23分  | 一般   | レクリエーションの効果を明確にする。(ジョギング、水泳、バレーボール、映画、動物保護施設でボランティアなど)      |   |
| 2624   | パニックディスオーダー<br>6人の患者                            | 9分   | 一般   | 次のようなパニック障害がおきる人がいる。(突然の発症、呼吸困難、窒息感、めまい、吐き気、嘔吐など)           |   |
| 2626   | 行動療法的家族指導(BFM)<br>～治療法の実際編～                     | 53分  | 一般   | BFMは、精神病患者とその家族が、生活上のストレスを減らすため、自分たちの対処技能を効果的に使えるように導くものです。 |   |

| 分類      | 番号   | 題名  | 上映時間 | 対象者        | 内容   |
|---------|--|---|------|------------|--|
| 心理・面接技法 | 2627   | こころを育むストレスマネジメント技法                          | 40分  | 小・中・高校生・一般 | ストレスマネジメント教育で気持ちの切り替えがうまくなる。ストレスに強くなる。                               |
|         | 2628   | 学校におけるストレスマネジメント教育                          | 34分  | 一般         | 学校におけるストレスマネジメント教育の可能性について探る。  |
|         | 2629   | 生きる力を創る<br>～SSTの理論と実際～                      | 47分  | 一般         | SSTとは認知行動療法。(指導者が、学習促進を援助する)   |
|         | 2631   | 面接への招待①                                     | 59分  | 一般         | 電話によるインテークと訪問による面接を通して、相談援助面接の一つの事例を紹介。あらゆる領域で働く対人援助職者が、応用可能である。     |
|         | 2632   | 面接への招待②                                     | 60分  | 一般         | 核心をはずさない相談援助面接の技法を紹介する。  |
|         | 2633   | ひきこもり完全脱出マニュアル<br>初級入門編<br>こうすれば子どもと対話ができる  | 60分  | 一般         | ひきこもりに対応するには、親子の意思疎通が重要である。対等の関係を保つ。                                 |
|         | 2634   | ひきこもり完全脱出マニュアル<br>第2講 ケーススタディ編<br>不登校とひきこもり | 60分  | 思春期<br>一般  | ドラマ仕立てで事例を再現し、不登校状態をひきこもり状態へと深刻化させず、脱却させるための、家族、教師の心構えを解説。           |
|         | 2635   | ひきこもり完全脱出マニュアル<br>第3講 思春期対応編<br>精神的症状とひきこもり | 45分  | 一般         | 強迫性障害のお子さんを抱えた家族を事例に、ひきこもりに多い各種精神症状とその対応について、再現ドラマをもりこみながら斉藤環氏が解説する。 |
|         | 2636   | ひきこもり①<br>ひきこもりに対する正しい理解                    | 27分  | 一般         | 2003年から2004年にかけてNHKで放送された『ひきこもりサポートキャンペーン』の内容をもとに制作されたビデオ。           |
|         | 2637   | ひきこもり②<br>支援の実践にあたって                        | 43分  | 一般         |  |
|         | 2638   | ひきこもり③<br>検証、支援現場～民間編～                      | 39分  | 一般         |  |
|         | 2639   | ひきこもり④<br>検証、支援現場～公的機関編～                    | 35分  | 一般         |  |
|         | 2640   | 実録・家族療法1巻<br>「心理教育アプローチに基づく家族面接             | 61分  | 一般         | 3人のセラピストによる家族面接ドキュメント  |
|         | 2641   | 実録・家族療法2巻<br>「力動的療法に基づく家族面接                 | 68分  | 一般         |  |
|         | 2642   | 実録・家族療法第3巻<br>「システムアプローチ」に基づく               | 87分  | 一般         |  |
|         | 2643   | 実録・家族療法<br>オリエンテーション編                       |      | 一般         |  |
|         | 2642   | 認知行動療法 ベテる式                                 | 95分  | 一般         | ベテルの家の幅広い活動を(認知行動療法)という視点から切り取って紹介。                                  |
|         | 2234   | 統合失調症の人の回復力を高める<br>①回復力を高める接し方              | 95分  | 一般         | 統合失調症の症状、治療、再発予防について基本的な講義   |
|         | 2235   | 統合失調症の人の回復力を高める<br>②ドラマで学ぶ回復力を高める会話         | 85分  | 一般         | ご本人との具体的なコミュニケーションについて実際のやりかたを学ぶ                                     |
|         | 2236   | 統合失調症の人の回復力を高める<br>③家族のSSTの進め方              | 45分  | 一般         | 病気のご本人とのよりよいコミュニケーションについて家族が集まって考える。                                 |
| 2238    | 「こころの病気を学ぶ授業<br>～統合失調症～<br>2008年普及活動及び授業実施報告 |   | 一般   |            |  |

# 位置図



こころの健康センター所報 第31号  
平成22年1月発行

石川県こころの健康センター  
〒920-8201 金沢市鞍月東2丁目6番地  
電話 (076) 238-5761  
FAX (076) 238-5762

● ホームページ

<http://www.pref.ishikawa.jp/fukusi/kokoro-home/kokoro/top.html> (こころの健康センター)  
<http://www.pref.ishikawa.jp/fukusi/kokoro-home/hattatu/top.htm> (発達障害支援センター)

石川県こころの健康センター

〒920-8201 金沢市鞍月東2丁目6番地 TEL(076)238-5761